

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO	
日本語 日本文学科	古典文学プロジェクト	-	1	進行中	2023年6月	2025年3月	古典作品から題材を選び、絵本や紙芝居、漫画、動画、音楽会、翻刻等にして、園児や小学生、中学生・高校生、大学生、社会人、外国人など、それぞれに相応しいかたちで紹介できる作品作りを試みる。『竹取物語』は絵本や紙芝居、映画などになっており、現在でも子どもから大人まで多くの人々に親しまれている。古典離れが進む現在、有名な作品から親しまれてこなかった作品まで、短くわかりやすいかたちに工夫して、広く紹介できるような教材開発を試みる。	鶴岡祐江		1	
日本語 日本文学科	馬瀬狂言プロジェクト	コースプロジェクトB9	1	進行中	2024年4月	2024年11月	三重県伊勢市の馬瀬町の人々の手で長い間伝えられてきた馬瀬狂言を紹介・発信するプロジェクトです。このプロジェクトでは地域で伝承されている伝統芸能を通して、日本の伝統芸能とその継承のあり方について学び、日本の伝統文化についての理解を深めます。 具体的な活動は、以下の通り。 ①「馬瀬狂言の世界 実演と解説」(2024/11/16)の企画・運営 ②馬瀬狂言の資料展示(2024/11/16~30) ③馬瀬狂言を紹介するリーフレット作り ④プロジェクト活動の情報発信	山本晶子		2	
日本語 日本文学科	お江戸で〇〇プロジェクト	コースプロジェクト	1	進行中	2024年5月	-	近世文学作品は多種多様な作品が残されているものの、くすし字の状態が残されている場合がほとんどである。本プロジェクトでは、翻刻や二次創作、グッズ製作や解説本などの作成を通じて、近世文学作品を現代人に親しみやすい形で再構成することを目的とする。	荻原大地		3	
日本語 日本文学科	帰国生のための漢字学習サポートプロジェクト	コースプロジェクト	1	進行中	2024年5月	-	2023年度に日文有志(6名)で、都内の某私立中学校における帰国生を対象とした漢字教育のサポート(オンライン指導)を計画・実施した。2024年度も同内容で継続する予定である。具体的には、以下5つの内容を実施予定である。 ①現地の視察、②対象校教員および対象生徒からの聞き取り、③漢字教育教材の分析、④指導計画および教材の作成、⑤漢字指導の実施	樋松容子		4	
日本語 日本文学科	世田谷ふしぎの本プロジェクト 2024	-	-	進行中	2024年6月	2025年3月	世田谷区立下馬図書館と協働イベントのひとつであり、地域の魅力を子どもたちのアイデアをいかした絵本にして発信します。 子どもと大学生でペアを組み、企画・編集・デザイン(作画)・印刷といった絵本を作成する工程を約半年をかけて取り組みます。 子どもたちの学びを支援しながら、「世田谷ふしぎの本プロジェクト」を新たな地域文化の発信手段としても活用し、絵本を手にする住民が地域の魅力に改めて目を向けるきっかけとしていきます。	嶺田明美		5	
日本語 日本文学科	児童文学プロジェクト	コースプロジェクトC	1	終了	2021年8月	2022年3月	「子どもと本をつなぐ」というコンセプトで継続、今年度3年目のプロジェクト。コロナ禍のため外部と直接つながる活動は控えざるを得なかったが、2つの企画(「YAにおける」「おいしいブックリスト」)でブックリストを冊子として作成。現在最終段階。	福田委千代		6	
日本語 日本文学科	百人一首deプロジェクト	コースプロジェクトC	1	終了	2021年8月	2022年7月	今年度より開始したプロジェクト。現代においてなじみのある古典作品の一つである『百人一首』を題材として、古典和歌がより身近になる教材を開発することなどを目標に、今年度より開始したプロジェクト。古典が苦手な人でも親しめる解説冊子や、和歌の詠まれた背景を楽しく紹介する動画の作成。現在、最終段階。	丹下暖子		7	
日本語 日本文学科	「昭和女子大学近代文庫」 コーパス化プロジェクト	コースプロジェクト5	1	終了	2022年9月	2024年3月	近代文庫所蔵の『与謝野晶子未発表書簡』のコーパス化を行っている。 現在もお図書館内の未画像処理化書簡も含む貴重な書簡を、広く社会に発信すべく、その著作権処理からコーパスの設計、入力を学生が主体となり、最終的には本学デジタルアーカイブ画像とのリンクを目指している。 *現在世界的にみて、コーパスとデジタルアーカイブの連携は先端的な試みとなっている。 ===22年度から23年11月現在までの成果=== ①22年11月:コーパス入力作業と並行し、与謝野晶子の人物像、昭和女子大学での研究の背景についての研究発表会 ②23年2月~3月:図書館入口スペースでの成果展示(コーパス化動画を含む) ③23年5月~6月:光葉博物館「与謝野晶子の世界展」での展示 ④23年8月:国立国語研究所言語資源WS23にて研究発表(学生と連名による) ⑤23年11月:秋桜祭にて、研究成果展示とレクリエーション、日文オリジナルグッズの配布 ⑥近代文化研究所紀要『近代文化研究』19号に研究ノートを発表	宮崎由美	メディア紹介 <学外> ■ニュースキャスト https://newscast.jp/news/5578934 ■沖縄タイムスプラス https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/1104997 ■ウーマンexcite https://woman.excite.co.jp/article/lifestyle/rid_NEWSCAST_5578934/ ■start home https://home.kingsoft.jp/wrapup/pr/atpress/346126.html?from=homepage_pr ■財経新聞 https://www.zaikai.co.jp/releases/1955002/ ■@niftyビジネス https://business.nifty.com/cs/catalog/business_release/image/aid_atp346126/in_1/1.htm ■文学通信 https://bungaku-report.com/blog/2023/02/202329323f.html <学内> https://00m.in/fhdbn https://00m.in/dJDKz		8
日本語 日本文学科	日本語教育プロジェクト	コースプロジェクトE	1	終了	2023年7月	2024年3月	日本社会において外国人との共生を支える日本語教育について多角的に考える。外国人を雇用している企業関係者、日本語教育関係者、日本語学習者等にインタビューを行い内容を分析し、自身の経験と知識を整理する。得た知見から教材開発にチャレンジする。本校に訪訪する日本語学習者との交流も行う。	近藤彩		9	

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
歴史文化学科	江戸幕府日記刊行会	—	—	進行中	2023年4月	2025年3月	江戸時代の基本的な情報が載っている「江戸幕府日記」をくずし字を解読して、ゆまに書房から史料集として刊行する。作業は解読者のレベルに合わせて①初級者編、②中級者編、③上級者編がある。	野口朋隆		10
歴史文化学科	井関隆子日記刊行会	—	—	進行中	2023年4月	2025年3月	幕末期に江戸で生きた女性・井関隆子が残した「日記」を現代語訳していくプロジェクト。本日記の原本は昭和女子大学付属図書館に所蔵されており、大奥、女性の考え方、年中行事、江戸であったおもしろい事、子どもの事など多方面に渡る記事が書かれている。	野口朋隆		11
歴史文化学科	東京・日本橋地域×昭和女子大学SDGs TERAKOYA（寺子屋）プロジェクト	—	—	進行中	2023年4月	2025年3月	日本橋地域の小学校及び中学校の生徒とともに、環境や女性の活躍をテーマとし、日本橋地域内で江戸時代より見られた循環型社会、教育のあり方、女性の活躍、職人の技などを調査し、地域が抱える課題を発見し、未来に向けて持続可能な解決策を考案していく活動。	大谷津早苗 小泉玲子 鶴岡明美 太田鈴子		12
歴史文化学科	留学生交流会	—	—	進行中	2023年4月	2025年3月	日本史や地理の教科書を音読しながら、日本人と留学生との交流を図る活動。日本語の読み書きは堪能であるが歴史・地理の知識が十分でない留学生（とくに1年生と2年生）に対し、日本人のピアサポートTA数名が1対1ないしはグループで、高校の日本史・地理の教科書を音読しながら知識の習得をアドバイスする。	毛利英介		13
歴史文化学科	椎葉巡見	—	—	進行中	2023年8月	2025年3月	宮崎県椎葉村での民俗調査、調査情報の整理、報告書刊行、ブログなどでの情報発信	大谷津早苗		14
歴史文化学科	中屋敷遺跡発掘調査	考古学実習	1	進行中	2023年8月	2025年3月	神奈川県大井町中屋敷遺跡の発掘調査は、1999年から実施している調査の継続事業。考古学系授業での学びをもとに、学生リーダーによって運営・実施されている。成果は学術面でも注目されているほか、地域との交流、地域史の解明に関わる社会貢献の側面も持つ取り組み。	小泉玲子		15
歴史文化学科	戦後史史料を後世に伝えるプロジェクト	—	—	進行中	2024年4月	2025年3月	被爆者運動の歴史に関する研究。研究展示や研究発表の場などがあります。戦時を生きた学生の日記翻刻にも取り組みます。	松田忍		16
歴史文化学科	旗本荒尾家アーカイブズプロジェクト	—	—	進行中	2024年4月	2025年3月	江戸幕府の家臣であった荒尾家に残された古文書を整理・写真撮影した上で、光葉博物館で企画展示を行う。荒尾家に関する史跡を訪問する。	野口朋隆 三野行徳		17
歴史文化学科	民俗芸能の次世代継承プロジェクト	—	—	進行中	2024年4月	2025年3月	民俗芸能は、地域の人々にとって楽しみや喜びを与えてくれる身近な芸能であると同時に、日本を代表する芸能文化の一つである。その民俗芸能が、現在地域の担い手不足などの理由で継承の危機にある。日本の大事な文化遺産である民俗芸能を次世代につないでいくために、伝承者以外の立場で何が出来るかを考え、活動する目的とする。	大谷津早苗		18
歴史文化学科	光葉博物館デジタルアーカイブ・プロジェクト	—	—	進行中	2024年5月	2030年3月	光葉博物館は2024年度で開館30周年を迎える。これを機に、6000点を超える収蔵資料を調査・撮影し、デジタルアーカイブを構築して公開するプロジェクト。立体資料の3D撮影も行い、webで資料を閲覧できるようにします。	三野行徳		19
歴史文化学科	Museum visit project	—	—	終了	2022年4月	2023年3月	SWU歴史文化学科とTUJアート学科の学生が様々なミュージアムを訪れ共に作品を鑑賞することで、実践的な学習につなげるとともに、言葉を超えた学生同士の交流・相互理解を推進する。	田中真奈子		20
歴史文化学科	金子台遺跡整理作業プロジェクト	—	—	終了	2022年4月	2023年3月	神奈川県大井町から寄託されている、金子台遺跡出土品の整理作業を行うプロジェクト。金子台遺跡の縄文時代中期から晩期にかけての土器や石器などが未報告になっているため、考古学実習他の授業で身に付けた実測・拓本などによる資料のデータ整理を行い、報告書を作成して情報公開を目指す取り組み。	小泉 玲子		21

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
英語 コミュニケーション学科	英語で地域貢献	英語で地域貢献	2	進行中	2022年4月	2025年3月	英語を通してNPOやボランティア活動の意義や役割、リスクマネジメントを実践的に学ぶ。手紙の翻訳（日英、英日両方）やまちづくりのサポート、日本に滞在中の外国人の活動補助を行いながら、仕事で生かせる英語力養成を企図する。22年度から24年度までは、山形市での活動をインバウンド観光支援の活動を行った。	重松優		22
英語 コミュニケーション学科	TUJ学生によるIELTS向上のためのTA活動	-	-	進行中	2024年5月	2024年12月	TUJ学生1名と英コミのDDPや認定留学に参加を希望する学生5名でチームをつくり、休休みに英語力を高める場を作っている。特にIELTSスコア向上を目指し、主にProductionスキルを高める為にWritingとSpeaking活動を中心に実施している。2024年度は前期、後期に実施予定。	高味み鈴 小西卓三		23
英語 コミュニケーション学科	SWU America Challenge 2021	-	-	終了	2019年4月	2021年3月	本プロジェクトは英語を用いてアメリカについて問うクイズ大会で、今年度で3回目を迎えた。2021年12月4日（土）に、英語コミュニケーション学科の学生14名とTUJの学生6名の計20名が実行委員となり、オンラインツールを用いて行った。イベント当日は、テンブル大学、東北学院大学、早稲田大学、神田外国語大学、千葉商科大学、慶應義塾大学、日本大学、東京大学、関西外国語大学、昭和女子大学から16チームの参加があり、3つのRoundを実施し、1位から3位のチームを決定した。	高味み鈴 Ryan Kevin John McCarthy	https://univ.swu.ac.jp/gakuhou/2021/10/25/46776/ https://sites.google.com/view/swuamericachallenge	24
英語 コミュニケーション学科	ELCmate	-	-	終了	2022年4月	2023年3月	ELCmateは、英コミの学生交流を促進するため、学生たち自身の発意から21年6月に発足した。これまで学年間懇談会、プレゼン講習会、インターン報告会、学寮研修準備会とイベントが4回実施された。もっとも成功したキャリアイベントには数十名の学生が集まり、コロナ下で途切れがちだった学生間のつながりの回復に大きく寄与した。	重松優 (学生部委員)		25
英語 コミュニケーション学科	留学準備のためのTAプロジェクト	-	-	終了	2024年6月	2024年7月	留学プログラムへの参加を希望する学生を学修面で支援するため、TOEIC試験高得点者やスコアアップ実績のある学生をTAとして採用している。	菅野遼		26
国際学科	ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学大学からの留学生との交流	-	-	進行中	2023年5月	-	協定校であるベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学大学から本学に留学している学生と、国際学科ベトナム語選択の学生の交流会を定期的に実施している。協定校との関係強化、日本語学習者とベトナム語学習者の相互の学びを促すことを目指している。	川畑由美 大泉さやか		27
国際学科	スペイン語SA活動	-	-	進行中	2024年4月	2025年2月	アルカラ留学に臨む前の1、2年生の学生で、スペイン語学習においてサポートを必要とする学生向けに、上級生がすでに学んだ知識を共有し、勉強の仕方から学習内容までサポートを行う。	小倉麻由子		28
国際学科	モンゴルにおけるシルクロード文化財（2）	-	-	進行中	2024年4月	2026年3月	本プロジェクトは、近年の研究の歩みをふりかえり、モンゴルにおけるシルクロード遺跡の文化遺産としての位置づけを試み、その保護と復元することを目的とする。	フスレ		29
国際学科	秋桜祭におけるベトナム関連ブースの出店	-	-	進行中	2024年5月	2024年11月	ベトナム、ベトナム語に関する広報の一環として、ベトナム語選択1年生の学生たちが秋桜祭にブースを出店する。2024年度は、ベトナムのコーヒーとお菓子を提供し、会場にベトナムの写真やグッズを展示することで来場者にベトナムについて知ってもらおう。学生は企画の中で、ベトナムの飲食文化についての知識を深めるとともに、食材の調達過程で日本国内のベトナム人コミュニティに関する知識を得ることができる。さらに、活動を通じ、学生間のチームワークやベトナム語学習へのモチベーションを高めることも目指す。	大泉さやか 米倉雷子		30
国際学科	スペイン公立語学学校日本語学習者との語学交流活動（アルカラ留学中の学生）	-	-	進行中	2024年9月	2025年5月	国際学科のカリキュラム認定留学でスペインに留学中の学生たちが、不定期で主体的にアルカラおよびマドリードにあるスペイン公立語学学校日本語学習者たちと交流会を開催し、語学力だけでなく、文化的知識、異文化コミュニケーション能力の涵養を行っている。	小倉麻由子		31
国際学科	スペイン・ボランティア活動	国際ボランティアS/F	2	進行中	2024年10月	2025年5月	スペイン・アルカラ留学中の学生が、現地のキリスト教会系ボランティア団体「カリタス」アルカラ支部で運営している経済的に恵まれない子供たちを対象とした学童保育ボランティアに参加。1回2時間程度で活動を行っている。	小倉麻由子		32

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
国際学科	留学体験動画制作	-	-	進行中	-	-	公開される学科PR動画として、留学中の学生自身によって留学先での学びと生活の様子を動画にまとめている。現在のところ、編集は業者に委託している。韓国編とスペイン編は公開済み。	柏木厚子 矢島宏紀		33
国際学科	学内外コンペ参加	-	-	進行中	-	-	英語、中国語、韓国語、ベトナム語、スペイン語などの学内外コンペに参加するための支援プロジェクト	英語：柏木・オキーフ 中国語：フスレ ベトナム語：大泉 韓国語：徐 スペイン語：小倉		34
国際学科	留学準備のためのTAプロジェクト	-	-	進行中	-	-	留学前の学生の学習支援のため英語および韓国語の母語話者と学生支援のためTAを採用している。	英語：柏木 韓国語：李・徐		35
国際学科	シンポジウム 「スペイン語教育における高大接続の現状と未来」	-	-	終了	2018年4月	2024年3月	グローバル社会を生き抜く現在の学生・生徒たちが、日本国内の多文化共生社会の構築という課題に応えられるよう、高等学校と大学におけるスペイン語教育現場の実態を把握して、カリキュラム・デザイン上の課題を明らかにし、英語教育から得られたこれまでの第二言語習得アプローチを活かして、新たな言語を学習するハードルを下げ、意義ある学習を可能にすることで新たな言語の学習に向けた動機づけを行っている事例を検証する。	小倉麻由子		36
国際学科	韓国語特別講義	-	-	終了	2022年8月	2022年8月	淑明女子の講義科目履修を想定した特別講義	徐珉廷 張河林 李守		37
国際学科	国際シンポジウム 「遊牧帝国の文明と現代社会」	-	-	終了	2022年12月	2022年12月	昭和女子大学国際学部国際学科の学術研究と対外交流活動の一環として、2022年12月に昭和女子大学で国際シンポジウム「遊牧帝国の文明と現代社会」を開催する。本シンポジウムは、日本、モンゴル、中国などの国からの研究者約8名を招き、近年の研究の歩みをふりかえり、歴史、考古、文化などの諸分野の最新の研究成果と課題を総括し、遊牧帝国の文明とその遺産を再評価しながら、創造的な議論を展開することを目的とする。	フスレ		38
国際学科	韓国大学生訪問団との交流会	-	-	終了	2023年3月	2023年7月	2023年6月27日（火）に韓国大学生訪日団(日韓交流基金)が本学を訪問し、国際学科韓国語選択1、2、4年生(約75名)と交流する。韓国大学生訪日団は2016年、2019年にも訪問したが、今回はコロナ禍によって4年ぶりに再開。駐日韓国大使館より韓国全土から選抜された韓国の大学生38名、6月25日から7月1日までの6泊7日間、日本国外務省の招聘で行われる事業の一環として来日する。	徐珉廷		39
国際学科	第16回ウランバートル国際シンポジウム 「モンゴルにおけるシルクロード文化財」	-	-	終了	2023年4月	2024年3月	本シンポジウム(2023年9月2-3日)は、日本とモンゴル、中国等の国からの研究者約10名を招き、モンゴルにおけるシルクロード遺跡の文化遺産としての位置づけを試み、その保護と復元をめぐる、議論を展開することを目的とした。日本、モンゴル、中国、ポーランドからの100名ほどの研究者、学生等が対面に参加した。本プロジェクトの成果として、論集を刊行したほか、「モンゴルにおけるシルクロード文化財映像(1)」をも作成した。本シンポジウムについては、『日本モンゴル学会紀要』、モンゴルの『ソヨンボ』『オラン・オドホン』などの新聞により報道された。	フスレ	https://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/2024/19223/	40
国際学科	ベトナム国家大学ハノイ人文科学大学 大学院生との交流会	-	-	終了	2023年11月	2023年11月	訪日するベトナム国家大学ハノイ人文科学大学 大学院生と国際学科ベトナム語選択の学生(1年生全員と希望する上級生)との交流会	川畑由美 米倉雪子 大泉さやか		41
国際学科	KF Global e-school(昭和-淑明) 10周年記念プロジェクト	-	-	終了	2023年11月	2024年11月	昭和女子大学国際学科は2015年から淑明女子大学とKF Global e-schoolを始め、来年2024年に10周年を迎える。今まで「韓国の政治、歴史、文化、文学、経済、ジェンダー」など多岐にわたるご講義を前期・後期、それぞれ設け、留学前の2年次前期と留学後の3年次後期に開設されてきて、本学国際学科の韓国語・韓国語の発展に一助できた。来年10周年を迎え、継続して質の高い講義を提供して下さったKF(Korea Foundation)と淑明女子大学に感謝の気持ちとさらなる発展を願い、記念行事を企画する。この行事の目的は第一に過去10年間を振り返る場を設け、今後さらに発展可能性について意見交換、第二に学校内外に知らせるためである。本学の韓国学を日本国内だけでなく、韓国国内でも知らせるよい機会になると考える。この10年間、携わった教授陣9名のうち、7名が来日する予定である。国際学科1~4年生を対象にするが、全学や他大学の学生や社会人も参加できる形にする。現時点のプログラム内容は「10周年記念セレモニー、シンポジウム(仮題：日本地域における韓国学の発展とKF Global e-schoolの役割)、ゲストによるご講義」の予定である。11月2日(土)に開催する予定。	徐珉廷	https://www.swu.ac.jp/news/nid00008072.html	42
国際学科	ベトナムから日本を知ろう！プロジェクト	-	-	終了	2024年4月	2024年7月	ベトナム留学中の学生が、日本での就職を目指すベトナム人を主なターゲットとして、日本の生活事情、就職(活動)事情をSNS(Facebook、Instagram)で発信する。ベトナムでのインターンシップ、留学を通して発見した課題、気づきをもとに、日本語、ベトナム語、イラストや写真を使用し、日本での就職、生活のために有益な情報をまとめる。	川畑由美 大泉さやか		43

【昭和女子大学 学科プロジェクト一覧表】

2024年11月現在

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
国際学科	ピアサポート・SA活動：韓国DDP希望学生のための韓国語力向上	-	-	終了	2024年5月	2024年7月	国際学科では、ダブルディグリー学生のため授業以外に集中講座や特別授業を行っている。DDP参加学生は入学後、1年半（ソウル女子大学校DDP）ないし2年（淑明女子大学校DDP）という短い期間で韓国語の入門から韓国語で講義を受けるレベル（上級）まで韓国語の語学力向上が必要である。留学から戻ってきた淑明DD2期生の3名による週1回60分指導を毎週2〜3回ずつ実施する。実際にDDPに参加し、留学から戻ってきた先輩からの指導は1年次のDDP希望学生に韓国語力の向上だけでなく、良いロールモデルになる。	徐珉廷		44
国際学科	TOPIK6級取得のための特別講義	-	-	終了	-	-	TOPIK6級取得のための特別講義	徐珉廷 李守		45
国際学科	オンライン講座（Korean Writing）	-	-	終了	-	-	韓国での自己隔離期間中にオンライン講座（Korean Writing）を実施	Kang Yeon Ok （NGO法人研究員）		46
ビジネスデザイン 学科	Palette：ESG英語発信プロジェクト	プロジェクトゼミナール I~IV	1	進行中	2017年4月	-	世界で共通する社会課題（特にESG）について、日本企業や日本社会はどのような取り組みを行っているかを、英語で対外発信するウェブサイト構築、デザイン、企画、（取材）、執筆、発信、アクセス解析までを行う。	今井章子	https://www.palette-sw.u.org/article	47
ビジネスデザイン 学科	ボストン記者	-	-	進行中	2022年3月	-	ボストン留学について、学科ブログでレポートする活動である。2022年度から開始。2023年度はブログ記事に加えて動画でのレポートを実施。BAPプログラムについても発信した。2024年度も記事と動画で展開予定。	三浦紗綾子	https://business.swu.ac.jp/blog	48
ビジネスデザイン 学科	南足柄プロジェクト	プロジェクトゼミナール	1	進行中	2022年4月	2025年1月	神奈川県内でも少子高齢化による人口減少が課題となっている南足柄市の魅力を地域住民と共に再認識し、関係人口を増やすためのイベントなどさまざまな活動を企画、運営、支援するプロジェクト	船善晶子	あめせみ9期Instagram https://www.instagram.com/amezemi_9/ 学科ブログ 船善ゼミ https://business.swu.ac.jp/?s=%E9%A3%B4%E5%96%84%E3%82%BC%E3%83%9F	49
ビジネスデザイン 学科	アントワープ×薬袋ゼミ 「ブランド・レゾナンス創造」プロジェクト	プロジェクトゼミナール I・II	1	進行中	2023年4月	-	株式会社アントワープがプロデュースする大手企業のカテゴリブランド（化粧品など）におけるブランディング計画をめぐって、実務家と共に、ブランドコミュニケーション計画、流通・販売促進計画、サービス開発、ECや小売店頭でのブランogram戦略等の方向性を検討し、提案を行う。	薬袋貴久		50
ビジネスデザイン 学科	「無印良品」H&Bリブランディング・プロジェクト	プロジェクトゼミナール I・II	1	進行中	2023年4月	-	株式会社良品計画が展開する「無印良品」のヘルス&ビューティ・カテゴリにおけるリブランディング計画をめぐって、実務家と共に、ブランドコミュニケーション計画、環境対応政策、流通・販売促進計画、ECや小売店頭でのブランogram戦略等の方向性を検討し、提案を行う（「アントワープ×薬袋ゼミ ブランド・レゾナンス創造プロジェクト」との連動プロジェクト）。	薬袋貴久		51
ビジネスデザイン 学科	撮り旅プロジェクト	-	-	進行中	2024年6月	2024年10月	旅を通じて地域の魅力動画を広報動画として仕上げる学習プロジェクト 旅する行程を取材撮影交渉と共に作成し、撮影、動画編集という一連の取材映像制作をプロから学ぶプロジェクト。 協力：「旅と学びの協議会」会員 株式会社AOI Pro、株式会社シンカ、黒田工業株式会社 2022年度は埼玉県飯能市、2023年度は群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢にて実施	船善晶子	https://www.aoi-pro.com/jp/news/20241018/54566/ https://business.swu.ac.jp/blog/2024/11/18271.html	52
ビジネスデザイン 学科	ひっくりかえるソフトウェアアイデアコンテスト	-	-	進行中	2024年7月	2024年10月	ソフトウェアのアイデアコンテスト。独創性、技術的な工夫、実現可能性、有用性、面白さを審査ポイントとしてビジネスコンテストにグループで参加する。 106チームが参加し、本選参加の5チームのひとつに選ばれた。	宮脇啓透	https://www.ogis-ri.co.jp/otc/contest/osca2024/	53
ビジネスデザイン 学科	学生ビジネスプランコンテスト	-	-	進行中	2024年7月	2024年12月	大学生のビジネスプランコンテスト。①目的・概要②新規性・独創性③実現性④市場性（成長性）⑤マーケティング⑥社会性の6項目で審査される。 1チーム提出済みで12月に結果が発表される。	宮脇啓透	http://www.gakusei-sc.or.jp/news/000006.html	54

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
ビジネスデザイン 学科	University of Victoriaとの国際共修	-	-	進行中	2024年7月	2024年12月	University of Victoria (カナダ) とビジネスデザイン学科の学生とで日本の靴産業界を学ぶ。フィールドスタディを通じて、特に健康の視点から考える。	三浦紗綾子		55
ビジネスデザイン 学科	第25回 日経STOCKリーグ	-	-	進行中	2024年9月	2025年2月	学校教育の場における投資学習の1つのツールとして企画されたコンテスト形式の金融・経済教育プログラム。2024年度で第25回を迎えた。チーム内で議論して投資テーマを決め、500万円分のポートフォリオ(10銘柄以上、20銘柄まで)を構築し、レポートを完成させる。	本合暁詩	https://manabow.com/sl/study/detail.html	56
ビジネスデザイン 学科	リラクゼーションドリンク” kiyasume” カテゴリイノベーション・プロジェクト	プロジェクトゼミナール I・II	1	進行中	2024年10月	-	(株)池光エンタープライズが販売するリラクゼーションドリンク” kiyasume” をめぐって、飲用消費の場づくりやリラクゼーションドリンクという製品カテゴリーの創造に向けた企画提案を行う。	薬袋貴久		57
ビジネスデザイン 学科	TA、シニアTA	-	-	進行中	-	-	TAは、1年生の「基礎ゼミ」でグループワーク型授業「タクナル」の運営を担当している。シニアTAはTA経験者からなり、TAの指導役を果たしている。TA、シニアTAともにこの学年間のタテのつながりを活かして留学準備等でも後輩の指導役として活動している。 ※毎年度1年CAが担当 2022年度：馬場康志、長屋真季子、飛田史和、三浦紗綾子 2023年度：馬場康志、長屋真季子、宮脇啓透、三浦紗綾子	宮脇啓透 馬場康志 榎木理江 三浦紗綾子	https://business.swu.ac.jp/tag/%e5%9f%ba%e7%a4%8e%e3%82%bc%e3%83%9f	58
ビジネスデザイン 学科	ウェブマスター	-	-	進行中	-	-	ウェブマスターは、学科オリジナルサイトを企画・管理・運営行う、学科3年生を中心としたグループである。2021年度新カリキュラムに伴うアップデートに取り組んだ。23年度は学科10周年企画を実施した。24年度はグーグルアナリティクスを用いた分析を行う。	三浦紗綾子 馬場康志	https://business.swu.ac.jp/	59
ビジネスデザイン 学科	Paletteプロジェクト	プロジェクトゼミナール	1	進行中	-	-	・国際社会や日本が直面する社会課題を、大学生の問題意識と視点で取り上げ、英語で発信することを目的に、ウェブサイトの企画・設計・執筆・公開・運営を学生が行う。 ・このことにより英語による対外発信の要諦を学ぶとともに、国際理解を促進する。 ・20年度以降は、社会課題の中でもsustainabilityに着目している。	今井章子	https://www.palette-swu.org/	60
ビジネスデザイン 学科	Uprizine and SWU-Imai Seminar Joint Project	プロジェクトゼミナール	1	進行中	-	-	・今井ゼミでは19年度にTUJのインターンを受け入れたことをきっかけに、学生組織Uprizineとの合同プロジェクトを不定期で開催している。 ・21年度は3月にBody Positiveというテーマで、drawing body positive arts and holding an exhibitionを3月18日TUJ Parliamentary Hallにて開催した。 ・企画運営実行はすべて学生が担当。このため、実施できた場合は、参加学生についてゼミ成績評価で加点している。	今井章子		61
ビジネスデザイン 学科	「ラ コルベユ・ブランドレソナンス・プロジェクト」 (連携先：井関産業株式会社ラコルベユ事業部)	プロジェクトゼミナール I・II	1	終了	2018年4月	2023年3月	井関産業株式会社ラコルベユ事業部が展開するブランド「ラ コルベユ」(柔軟剤、ボディケア、女性用下着洗剤など)をめぐって、そのブランドコミュニケーション計画、流通・販売促進計画、ECやDgS等の小売店頭でのプログラムの提案を行う。	薬袋貴久	https://univ.swu.ac.jp/topics/2019/08/05/33435/ https://www.la-corbelle.jp/	62
ビジネスデザイン 学科	ロレアル パリ「Stand Upプログラム」 連携プロジェクト	-	-	終了	2021年10月	2022年2月	ビジネスデザイン学科2年生が、トータルビューティブランド「L' ORÉAL PARIS (以下、ロレアル パリ)」が世界各国で展開しているストリートハラスメント(公共の場での性的嫌がらせ)の対処方法を啓発する活動「Stand Upプログラム」に取り組みます。	浅田裕子	https://univ.swu.ac.jp/news/2021/11/26/47379/	63
ビジネスデザイン 学科	JAL新規顧客層拡大に向けた課題解決	ビジネス開発研究G	2	終了	2022年10月	2023年2月	日本航空株式会社の協力を得て、経営企画部門、商品開発部門、宣伝部門の社員による講義と課題提示を受け、学生はチームに分かれ企画立案(プレゼンテーション) フィードバック、再考、ファイナルプレゼンを各部門に繰り返すことによって、業界、個々の企業の特徴、顧客思考を学ぶ。企業にとっても新規顧客層(20代前半層)への有効なアプローチ、新たな媒体への気づきとなった	船善晶子		64
ビジネスデザイン 学科	グローバルビジネス学部10周年プロジェクト	-	-	終了	2023年2月	-	学部創設10周年を記念して、多様なイベントや制作物を企画するプロジェクト	今井章子 本合暁詩 船善晶子 三浦紗綾子	https://www.swu.ac.jp/faculty/global/business/gb10th.html	65

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
ビジネスデザイン 学科	Bgirls	-	-	終了	2023年3月	2023年7月	2023年度昭和ポストン ウィングリーダーによるポストン留学に関するインスタグラム	三浦紗綾子	https://business.swu.ac.jp/blog	66
ビジネスデザイン 学科	ブルームバーグESG投資コンテスト2023	-	-	終了	2023年5月	2023年9月	テーマは、『ESG課題に立ち向かうZ世代ファンド』。投資先企業を通じてリターンと社会的貢献を考えるESG投資においてファンド組成する。 参加者は、世界中の金融機関で利用されている「ブルームバーグターミナル」をコンテスト期間中無料で利用できるほか、資産運用会社や業界団体による金融業界や投資に関連する特別講演、交流会等に参加する。ファイナリストによるプレゼンテーション形式の選考会を経て、上位2チームには、機関投資家の前で発表する。ゼミ活動の一環としてコンテストに参加する。	本合暁詩	https://www.bloomberg.co.jp/company/esg-investment-contest-japan/	67
ビジネスデザイン 学科	千本松牧場プロジェクト	プロジェクトゼミナール I・II	1	終了	2023年7月	2024年3月	(株)ホウライが所有する千本松牧場における、新商品開発プロジェクト	長屋真季子		68
ビジネスデザイン 学科	課題解決プロジェクト「オムロン」	-	-	終了	2024年5月	2024年7月	マイナビが主催する企業別問題解決プロジェクト「オムロンのコア技術を用いて、社会的課題の解決に向けて取り組むべきことを提案してください」にゼミの学生がチームで応募。惜しくも入賞は逃したが、25点満点中22点の好成績で応募者の上位20%の評価で終えた。	宮脇啓透	https://job.mynavi.jp/start/project/theme_2024-1-1/	69
ビジネスデザイン 学科	Boston Intercultural Gakuryo(BIG)	-	-	終了	-	-	学寮研修代替プログラムとして2年次生101名、3年次生104名がポストンオンライン留学期間中に、オンライン学寮を実施。正課外で学生主導の異文化交流+ビジネス開発プロジェクトを実施し、発表した。最終発表会は日経新聞およびBSテレビ東京の取材を受け(パトリック・ハーラン氏来訪)、2021年7月2日、9日に放映、2021年12月6日に日経新聞朝刊に掲載された。	浅田裕子 今井華子 本合暁詩	https://business.swu.ac.jp/blog/2021/07/9101.html https://business.swu.ac.jp/blog/2021/07/9279.html	70
ビジネスデザイン 学科	Tapirus Milk開発	プロジェクトゼミナール	1	終了	-	-	学生が設立した株式会社Tapirusで「Tapirus Milk」(仮称)の試作品第1号を完成し、3月12日に東京創業ステーションTAMAのご協力を得て、テストマーケティングを実施。(Tapirus Milkは、ミルク育児をなさる方が、簡単に授乳時のミルクの温度を計測し、授乳量と授乳時刻とともにスマートフォンのアプリに送信、記録できることを目指す製品)	前田純弘	https://business.swu.ac.jp/blog/2022/03/10723.html	71
ビジネスデザイン 学科	知的活用スチューデントアワード	プロジェクトゼミナール	1	終了	-	-	2021年度に湯川ゼミにより最優秀賞を受賞した本ビジコンについて、2022年度は馬場ゼミからの参加へ向け、主催者説明会に参加するなど学生による検討を進めた。参加希望学生が多く(9名)2チームに分けようとしたが、1校2チームまでという制約の中で会つからも参加があったため、2022年度については参加を断念した。	馬場康志		72
会計ファイナンス 学科	東京発!物産・逸品見本市(西武信用金庫主催)	-	-	進行中	2016年4月	-	山田ゼミ3年生が東京にある有名店に食レポを中心とした情報収集を行い、それをWEBやパンフレットに掲載。5月に新宿駅西口イベント広場で開催される物産展の支援を行う。	山田隆	https://www.tokyo-bussan-ippin.com/	73
会計ファイナンス 学科	昭和女子大学×附属小学校×世田谷税務署(渋谷税務署)「租税教室プロジェクト」	ゼミナール I・II	2	進行中	2020年4月	-	学生が講師となり小学生(6年生約120名)に「税について教える」プロジェクト。 ・ゼミの専門(税務会計)の学びを、「教える」ことにより一層深め、非認知能力を磨く。 ・令和2年度、STUDENTS OF THE YEARを受賞、各マスコミにて公表。 ・J-com(ケーブルTV)にて、令和6年3月に取り組みを放映。令和6年度もプロジェクト継続中。	加納輝尚	https://www.swukaikief.jp/class/3807/ https://www.swukaikief.jp/class/4421/ https://www.swukaikief.jp/info/5779/	74
会計ファイナンス 学科	小森ゼミ学園祭プロジェクト	ゼミナール I・II・III・IV	-	進行中	2023年4月	2025年12月	館山市商工会議所青年部会員の須藤牧場とコラボして、昭和女子大学オリジナルフレーバーアイスクリームを開発し、学園祭で販売した(2023年度)。2024年度は食事系のメニューを開発して販売予定。	小森亜紀子		75
会計ファイナンス 学科	「なまらいっしょ北海道2024」 興部町・共和町・七飯町商工会 サポートプロジェクト	-	-	進行中	2024年4月	2025年3月	北海道商工会連合会が三軒茶屋で11月に開催する「なまらいっしょ北海道フェア2024」に出展する興部町商工会、共和町商工会、七飯町商工会の活動をサポートすることを通して、ビジネスにおけるモノの流れ、カネの流れを体験的に理解する。	関憲治	(昨年度の活動状況) https://www.swukaikief.jp/class/5185/	76

【昭和女子大学 学科プロジェクト一覧表】

2024年11月現在

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
会計ファイナンス 学科	コンサル業務で社会貢献プロジェクト	ゼミナール Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	2	進行中	2024年4月	2026年3月	教員を株主、学生を会社にみだてて組織編成し、コンサル会社として、学生みずから、①組織運営、②顧客探索、③その顧客の会社の財務状況等の分析、④顧客の問題点の抽出、⑤改善策の提案を立案し、その顧客にプレゼンするとともにそのフィードバックを顧客から受ける。	鈴木大介		77
会計ファイナンス 学科	長野県岡谷市プロジェクト	ゼミナール Ⅰ・Ⅱ	2	進行中	2024年5月	-	「岡谷市の魅力発見！宝物探しをしよう」というテーマのもと、岡谷市内の複数企業にご協力いただき、岡谷市内在住または通学している高校生とともに、魅力のあるモノを発見するプロジェクトを実施します。具体的には、ふるさと納税返礼品について検討しております。	鈴木美代子	https://www.swu.ac.jp/news/nid00007871.html	78
会計ファイナンス 学科	金融教育プロジェクト	-	-	進行中	2024年7月	-	資産運用会社である農林中金バリューインベストメンツ株式会社様では、高校の家庭科で活用できる金融教育の教材を開発し、2022年3月末から無料で提供しています。なお、この教材では株式投資という「狭義の投資」のみならず、人生に「投資」の概念を組み込むという高い視座を持った「広義の投資」について扱っています。この教材を活用させていただき、農林中金バリューインベストメンツ株式会社様（「投資のプロ」）のご指導の下、会計やファイナンスを学んでいる大学生が、中学生や高校生により近い視点で金融教育を行います。	吉岡豊司 関憲治	https://www.swukaikief.jp/%e3%82%bc%e3%83%9f%e6%b4%bb%e5%8b%95/6292/	79
会計ファイナンス 学科	中高生と「無意識のバイアス」を一緒に考えるプロジェクト	-	-	進行中	2024年9月	2025年3月	立教新座高校2年生や昭和女子大学附属中学校1・2年生と、「無意識のバイアス」について一緒に考える授業を実施する。ゼミ生を中心とした会計ファイナンス学科学生がファシリテーター役をつとめる。	小森亜紀子	https://www.swu.ac.jp/news/nid00007630.html https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20240912/1000108962.html https://www.u-presscenter.jp/article/post-54211.html https://www.nikkei.com/compass/content/ATPKDB408649/preview	80
会計ファイナンス 学科	ビジネス書動画作成プロジェクト	ゼミナール Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	2	終了	2020年4月	2024年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミで用いたビジネス書を5分から10分程度の動画でわかりやすく解説し、それをYouTubeにアップ ・忙しいビジネスパーソンでも気軽に、短時間で1冊の本の内容をわかるようにしている。 ・この活動を通じて、学生は知識のインプットだけでなく知識のアウトプットについても学んでいる。 	高木俊雄	https://www.swukaikief.jp/class/3667/	81
会計ファイナンス 学科	昭和女子大学×西武信用金庫「第15回東京発物産・逸品web モール」プロジェクト & キッズ未来プロジェクト（子供食堂）	ゼミナール Ⅰ	1	終了	2021年4月	2021年9月	西武信用金庫主催の物産展、東京都内の銘店をゼミ生が取材し、その取材レポートおよびPR動画を作成し、webに掲載、販売促進につなげる。また、シングルマザー世帯を支援する「子ども食堂」を取材し、その広告活動を実施。2022年度はwebモール出展企業およびクラウドファンディング大手キャンプファイヤー社とクラウドファンディングのPR活動も行う予定。	山田隆	https://www.shinkin.co.jp/seibu/about/blog/article_211012.html https://www.swukaikief.jp/class/3519/	82
会計ファイナンス 学科	血液事業学会ポスター発表	ゼミナール Ⅰ・Ⅱ	2	終了	2021年4月	2021年10月	第45回日本血液事業学会にて、「日本血液製剤機構の財務分析」と題してゼミ生10人と担当教員井出でポスター発表しました。非営利組織体の経営分析ですが、企業分析と同様の手法で収益性と安全性を中心に考察しました。当該学会での現役学生を交えた報告は初めての試みとあり、高評価を受けました。	井出健二郎	血液事業学会『血液事業』第44巻第2号 p.339(2021/11)に抄録を掲載	83
会計ファイナンス 学科	神奈川県真鶴町活性化事業プロジェクト	ゼミナール Ⅱ・Ⅳ	1	終了	2021年10月	2023年3月	神奈川県真鶴町観光協会青年部の依頼で、街の活性化事業について提案していくことが決定した。担当者が大学に赴き、街の説明を受けたのち、具体的には特産がミカンと魚(干物)であることから、これらをどのようにクローズアップさせるかについて検討した。3年生4年生が協働してインスタグラムの活用などでゼミ生が発信していくこと、またリーフレット作成も進めていくこととした。一部予算組みしていただき、本格的に進めていく。なお、青年部のご厚意により、「昭和女子大学 井出ゼミ 真鶴office」を来期から開設予定です。	井出健二郎		84
会計ファイナンス 学科	nosomeプロジェクト	ゼミナール Ⅱ・Ⅳ	-	終了	2021年11月	2022年7月	2021年7月に設立された合同会社nosome（北海道帯広市）と連携し、同社が取り扱いは開始する（北海道）本別産タマネギの外皮を活用した染料で染めた衣類（Tシャツ、パーカー、帽子、靴下など）をインターネット販売するにあたり、首都圏在住の女子学生の視点からニーズ調査などを行い、さまざまな提案を行っていくプロジェクト。まだ開始したばかりのプロジェクトなので、春休み中に活動を継続するが来年度ゼミ内の希望者（新3年生・新4年生）により継続していく予定。	関憲治		85
会計ファイナンス 学科	「なまらいっしょ北海道2022」興部町商工会サポートプロジェクト	ゼミナール Ⅰ・Ⅱ	-	終了	2022年4月	2023年3月	11月5日（土）・6日（日）に北海道商工会連合会が三軒茶屋で3年ぶりに開催する「なまらいっしょ北海道フェア2022」に初出展する興部町商工会の活動をサポートすることを通して、ビジネスにおけるモノの流れ、カネの流れを体験的に理解する。フェア終了後には、活動を踏まえて次年度に向けた提案を興部町商工会に対して行う予定。	関憲治	https://www.swukaikief.jp/class/4243/	86
会計ファイナンス 学科	松原食品株式会社とのコラボ企画 食品の流通・販売を体験する	ゼミナール Ⅲ・Ⅳ	-	終了	2022年4月	2023年3月	博多市に本社がある松原食品さんとコラボして、商品の流通・販売促進を体験しています。また、同社製品がBSフジで紹介されることにつき、ゼミ生も参加して盛り上げている企画です。なお、顧問として岸山陸先生にもご参加いただいています。	井出健二郎		87

【昭和女子大学 学科プロジェクト一覧表】

2024年11月現在

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
会計ファイナンス学科	昭和女子大学×西武信用金庫 「第16回東京発物産・逸品web モール」プロジェクト & キッズ未来プロジェクト (子供食堂)	ゼミナールⅠ	1	終了	2022年4月	2022年9月	西武信用金庫主催の物産展。東京都内の銘店をゼミ生が取材し、その取材レポートおよびPR動画を作成し、webに掲載、販売促進につなげる。また、シングルマザー世帯を支援する「子ども食堂」を取材し、その広告活動を実施。2022年度はwebモール出展企業およびクラウドファンディング大手キャンプファイヤー社とクラウドファンディングのPR活動も行う予定。	山田隆	https://www.shinkin.co.jp/seibu/information/new/2022/bussan_2022.html	88
会計ファイナンス学科	「SDGsいろはのい」の成果発表会 ウインパートナーズ株式会社	ゼミナールⅠ	—	終了	2022年4月	2023年3月	前期にSDGsをゼミ学習のテーマとして掲げ、各グループに分かれて、さまざまな観点から報告してきました。その成果をウインパートナーズ株式会社のご厚意により、成果発表する機会を得ました。今回は、「SDGsいろはのい」として当該会社社員全員に動画配信する予定です。	井出健二郎		89
会計ファイナンス学科	世田谷教育総合センター STEAM教育教育講座 「ディズニーのプリンセスと王子様 について考えてみる」プロジェクト	ゼミナールⅡ・Ⅲ	—	終了	2022年10月	2022年11月	世田谷区からの依頼で、世田谷区教区総合センターで実施しているSTEAM教育講座ワークショップで、小中学生を対象に「ディズニープリンセスと王子様の変遷」と時代の変遷について考えるワークショップを実施する。	小森亜紀子		90
会計ファイナンス学科	「なまらいっしょ北海道2023」 興部町商工会サポートプロジェクト	—	—	終了	2023年5月	2024年3月	昨年度に引き続き北海道商工会連合会が三軒茶屋で11月に開催する「なまらいっしょ北海道フェア2023」に出展する興部町商工会の活動をサポートすることを通して、ビジネスにおけるモノの流れ、カネの流れを体験的に理解する。フェア終了後には、活動を踏まえて次年度に向けた提案を興部町商工会に対して行う。	関憲治	https://www.swukaifei.jp/class/5185/	91
会計ファイナンス学科	本郷中高・獨協中高男子生徒と 「無意識のバイアスについて一緒に考える」プロジェクト	ゼミナールⅡ・Ⅳ	—	終了	2023年7月	2023年12月	本郷中学・高校、獨協中学・高校の男子生徒と小森ゼミの学生がファシリテーターとなり、「無意識のバイアスについて一緒に考える」アクティブラーニング型の授業を実施した。内容は、事前アンケートの男子中高生と女子大学生の回答の比較、ディズニープリンセス・プリンスの変遷、ファーストジェントルマンになったらどうするか（シル・バイデン大統領夫人とハリス副大統領の夫のダグラス氏の例から、炎上したCMについて考えるなど。授業終了後にキャンパスツアー（含むTUU）を実施した。	小森亜紀子	https://www.swu.ac.jp/news/nid00004831.html https://www.swu.ac.jp/news/nid00005680.html	92
GB学部	グローバルビジネス学部10周年プロジェクト	—	—	終了	2023年5月	2024年3月	学部設立10周年を祝い、在学生、卒業生の交流の場づくり、記念行事を学生の視点で企画・運営するプロジェクト。	今井章子 本合咲詩 三浦彩也子 船橋晶子		93
心理学科	手作り工作を通じた遊びの支援	心理学総合演習C	1	進行中	2024年4月	2025年3月	放課後児童クラブ（学童保育）を利用している小学生の遊び支援として、手作り工作を通じた交流活動を行う。交流活動の一つとして夏休みのスペシャルイベント（手作り工作遊びコーナー）の企画運営を行う。子どもの年齢、発達段階、興味関心、スキルに応じた遊びの楽しみ方や関わり方を学ぶため、乳幼児の親子が集う広場（おでかけひろばSHIP）での観察実習、放課後児童クラブ（昭和小学校アフタースクール）でのボランティア実習を行う。実習や授業で学んだことを踏まえ放課後児童クラブでのスペシャルイベントをプロデュースする。	松永しのぶ 松澤正子 野崎茉莉	https://content.swu.ac.jp/shinri-blog/2023/09/20/comprehensive_seminar_on_psychology_b_2023/	94
心理学科	wonder of face	心理学総合演習C	1	進行中	2024年4月	2025年1月	人にとって「顔」の認知は他の「物」の認知と明らかに異なる特徴があり、心理学的に極めて興味深いテーマである。このような「顔」の認知について、文献、実験、フィールドから探究し、その不思議と魅力を社会に発信する。	木村あやの	https://content.swu.ac.jp/shinri-blog/2023/10/04/comprehensive_seminar_on_psychology_b_2023_wonder_of_face/	95
心理学科	音を楽しみーション	心理学総合演習C	1	進行中	2024年4月	2025年3月	音、特に音楽には、聴く者の身体を動かす力がある。例えば音楽のリズムに合わせて身体を動かしたくなる感覚は多くの人が経験し、またそのような感覚には快感情が伴われることが先行研究によって示されている。本プロジェクトは、最新の研究動向について学んだ後、ワークショップを通してどのような音楽が身体を動かしたくなるのか体験しながら考える。その後実際の実験研究への参画を通して、音が身体を動かすメカニズムの解明に迫っていく。	池上真平		96
心理学科	Gender and Religion	心理学総合演習C	1	進行中	2024年4月	2025年3月	現代社会では、様々な背景を持つ人々がいかに共生していけるかが大きな課題となっている。このうち本プロジェクトでは「ジェンダー」と「宗教」をキーワードにして、人々の価値観や性の多様性を踏まえた社会を実現するためにはどのようなことが必要なのかを探るため、関連する資料の調査、フィールドワークなどを行う。	本多ハワード素子 渡邊寛		97
心理学科	三軒茶屋の居場所あいらず （こころの居場所づくりと運営）	心理学総合演習C	1	進行中	2024年5月	2025年4月	世田谷区との「若者支援の分野における連携協力に関する協定」に基づき、世田谷区子ども・若者支援課と連携し、昭和女子大学心理学科学生が運営する「三軒茶屋にある若者（女の子のため）の居場所」である。小学校5年生～24歳までの女性が、年齢に近い女子大学生と話をしたり、様々な活動を共に行うことで若者にとって居心地の良い居場所、そして様々なことに挑戦できる空間となることを目指し、学生自らプログラムの企画・広報・運営を行っている。	田中奈緒子 増淵裕子	https://www.city.setagaya.lg.jp/mokujii/kusei/012/008/005/d00140899.html	98

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
心理学科	サウンドスケープの統合的理解	心理学総合演習B	1	終了	2023年4月	2024年3月	サウンドスケープとは、「音の風景」のことである。本プロジェクトでは音の風景を、心理的・物理的・社会的・文化的・歴史的観点から多角的に捉え、考察する力を養うことを目的としている。 聴覚の基礎知識を学んだうえで、フィールドレコーディングに出かけ、録音した音を用いて音響分析・心理実験を行う。音の物理的特徴、感性的特徴を捉え、その音風景の社会的・文化的・歴史的背景の関連から理解を深める。	池上真平		99
心理学科	私の社会を深く知る	心理学総合演習A	1	終了	2022年4月	2023年3月	このプロジェクトでは、私たちが暮らす社会について改めて知り、多様な人々がいかに共生できるかを考えることを目的としている。2022年度は大きく2つのグループに分かれて実施している。1つは美容グループで、身の回りにおける美容の広告や商品にどのような特徴があるかについてフィールドワークを行い、その特徴の背後にある社会的な規範について考えたり、実際に広告や商品を制作している方にインタビューを行い、作りの考えを探っている。もう1つは多様性グループで、ユダヤ教やイスラム教など日本における多様な宗教の実態をフィールドワークしているほか、TUJとのイベントに参加し、異文化交流を実際に行っている。	本多ハワード素子 渡邊寛		100
心理学科	文化と女性	心理学総合演習B	1	終了	2023年4月	2024年1月	日本社会における多様な文化を学び、これからの共生のあり方について考える。また、各文化において女性がどのように位置づけられているかを知り、社会問題とジェンダーのつながりについても考える。参加者が主体的に判断し、グループでプロジェクトを進めていく。	本多ハワード素子 渡邊寛		101
福祉社会学科	住民主体型地域サービスたまごの家（ライラック）	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	進行中	2024年8月	2024年12月	住民主体型地域サービス「たまごの家」にて世代間交流をメインとした活動を行った。「たまご（他・孫）」には、「わが孫から地域の孫・社会の孫へと視点を広げて子どもたちに暖かなまなざしをそそぎたい」という願いがこめられている。支援する・されるという関係性ではなく、「一緒にやること」を大切にしており、学生たちの活動目的にふさわしい活動先であった。夏の活動では敬老の日のイベント（合唱、展示品の製作）、会食時の調理などを一緒にを行い、交流を深めることができた。12月は近隣の保育園等を巻き込んでのクリスマス会を計画している。	伊藤純 向笠京子 増田裕子 渡邊瑞穂		102
福祉社会学科	介護付き有料老人ホームヒルデモア駒沢公園（あんず）	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	進行中	2024年8月	2024年12月	介護付き有料老人ホーム「ヒルデモア駒沢公園」にて、入居者の方とのレクリエーションなどを企画・実施した。入居者の方に学生との交流を楽しんでいただくとともに、老人ホームのニーズを学ぶという目的を持ち、「支援してあげる」のではなく、「お互いが楽しむ」「尊重し合う」という意識のもと活動に取り組んだ。施設の方と入念に話し合いを重ね、アクティビティとクイズ大会などのレクリエーションを実施した。12月にはクリスマスイベントを計画している。	伊藤純 向笠京子 増田裕子 渡邊瑞穂		103
福祉社会学科	太子堂あんしんすこやかセンター（アベリア）	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	進行中	2024年8月	2024年12月	このチームの活動のコンセプトは、「地域の中での交流を通して、高齢者の方が自信を持ち続けられるような場と機会を提供すること」である。夏休み中の活動として、高齢者の方が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるように様々な支援を行っている太子堂あんしんすこやかセンターにて、「青空ラジオ体操」「青空カフェ」「スマホ相談会」などに参加し高齢者の方の思いやニーズの聞き取りを行った。また、「認知症とともに生きるオレンジの日」に向けての企画会議に参加し、フライヤーの配布を手伝ったほか、イベント当日に参加し地域の高齢者の方々との触れ合いを行った。12月には学内に高齢者をお招きし、一緒に学食で食べたりレクリエーションをしたいと計画している。	伊藤純 向笠京子 増田裕子 渡邊瑞穂		104
福祉社会学科	NPO法人 砧・多摩川あそび村（ろーるきゃべつ）	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	進行中	2024年8月	2024年12月	夏休み期間に「NPO法人 砧・多摩川あそび村」（以下：きぬたま）という団体にてボランティア活動を行った。きぬたまは、乳幼児から高校生までの子どもたちが「自分の責任で自由に遊ぶ」ことをモットーに自然豊かな多摩川の河川敷で遊ぶことのできる貴重な場である。川遊び、原っぱ遊び、砂遊び、川の水を汲み上げたミニプールで水遊び、野球、お話し、原っぱの草刈り（環境整備の手伝い）、宿題クラブでの学習支援、縁日のお手伝いなど子どもたちと思い切り遊ぶなかで自然を満喫してもらうことができた。後期は木片を使ったアクセサリー作りイベントを企画している。	伊藤純 向笠京子 増田裕子 渡邊瑞穂		105
福祉社会学科	社会福祉法人せたがや榎の木会 プレイ&リズム希望丘（team vulnerable）	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	進行中	2024年8月	2024年12月	プレイ&リズム希望丘さんは発達障害児のための施設である。午前中に未就学児を対象とした児童発達支援、午後には放課後デイサービスを行っている。学生自身が考案したレクリエーション（ボーリング）のほか、子どもたちが楽しみにしている和紙染め体験・プール遊び・ピザ作り、テントを出しての外遊び・魚釣り大会などのお手伝いをした。また、視覚と思考のトレーニング、読み聞かせ・リトミック・マット運動・ランニング、交通安全のプログラムのサポートを行った。12月にはクリスマス会を企画運営したいと考えている。	伊藤純 向笠京子 増田裕子 渡邊瑞穂		106
福祉社会学科	社会福祉法人せたがや榎の木会 世田谷区立下馬福祉工房（kimaraz）	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	進行中	2024年8月	2024年12月	障害者の就労に関心のある学生がチームを結成し、夏季休業中にプロジェクト活動を行った。チームの活動の根幹には「障害の有無に関係なく交流できる共生社会をつくりたい」という思いがある。活動先は「世田谷区立下馬福祉工房」であり、障害のある方と共にドライフルーツの選別・計量・梱包、クッキーの制作・袋詰め、近隣の公園清掃などを行ったほか、利用者の方と歌、体操やUNOでの交流を行い、障害者の方たちへの理解を深めることができた。また、施設の方にインタビューなども実施した。後期は学内で下馬福祉工房の焼き菓子販売・利用者のアート作品の展示会を行うほか、自分たちが感じたことをメッセージカードに託し、大学の産学交流会時に配布するなどの活動を計画している。	伊藤純 向笠京子 増田裕子 渡邊瑞穂		107
福祉社会学科	せたがや子どもハル 虹（えんじょいいーと！）	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	進行中	2024年8月	2024年12月	児童福祉、保育に関心のある学生がチームを結成し、「こども食堂ハル虹」にて夏季休業中のボランティア活動を実施した。会食形式・お弁当配布形式などの活動に参加したほか、こども食堂を利用している保護者へのアンケートを実施した。また、学生企画によるビンゴ大会にて多数の参加者を得、景品として手作りのおもちゃや折り紙をプレゼントし、参加した子どもたちを笑顔にすることができた。	伊藤純 向笠京子 増田裕子 渡邊瑞穂		108
福祉社会学科	株式会社 アウトソーシング（Friends）	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	進行中	2024年8月	2024年12月	活動目的は「異文化理解」。2024年の夏季休業中に、ソーシャルワークプロジェクトの授業の一環で、「日本の文化を紹介し、実際に外国の方々に体験していただく」という計画を立案し、株式会社アウトソーシングにてウクライナから避難された方々と2日間の交流活動を企画・実施した。「鶴」や「くす玉」などの折り紙作り、習字を共に行ったほか、ウクライナ語を教えていただくなどして密な異文化交流ができた。	伊藤純 向笠京子 増田裕子 渡邊瑞穂		109

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
福祉社会学科	株式会社 アウトソーシング (interactions)	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	進行中	2024年8月	2024年12月	株式会社アウトソーシングにて、ウクライナからの避難民の方との交流活動を行った。自分たちが考案したアイスブレイク（好きな食べ物や夏の思い出などについて共有）をしたほか、書道や茶道などを体験していただいた。	伊藤純 向笠京子 増田裕子 渡邊瑞穂		110
福祉社会学科	キッズビジョン 日本橋浜町校 (キッズシティひまわり)	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	進行中	2024年8月	2024年12月	放課後の子どもたちの過ごし方を知ること、放課後の児童をサポートする体制について考えること、施設のイベントを通して子どもたちとの交流を深めることをテーマにキッズビジョン日本橋浜町校にて活動を実施。また発展的な取り組みとして、他の国の学習環境や子どもの居場所づくりについて知り日本での子どもの居場所のあり方について考えることを目的にフィリピンのセントメリーズ大学との交流会に参加を予定している。	伊藤純 向笠京子 増田裕子 渡邊瑞穂		111
福祉社会学科	福音寮 (こやぎ)	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	進行中	2024年8月	2024年12月	児童養護施設で過ごしている子どもの現状の理解と、ボランティア活動を通して子ども達の支援方法を学ぶことを目的とし、福音寮が行っている子どもと家庭を支える学習・生活支援の拠点事業にて音楽披露会を実施。	伊藤純 向笠京子 増田裕子 渡邊瑞穂		112
福祉社会学科	学び舎トーカ (クレヨン)	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	進行中	2024年8月	2024年12月	現代の子どもたちの居場所の在り方を追求することをテーマとし、フリースクールでの子どもたちとの交流を実施。さらに発展的な取り組みとして地域の様々な方を対象とした「お楽しみ会」を計画し、実施を予定している。	伊藤純 向笠京子 増田裕子 渡邊瑞穂		113
福祉社会学科	フィリピンセントメリーズカレッジとの交流会	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	進行中	2024年11月	2024年11月	フィリピンケソンシティにあるセントメリーズカレッジ・ソーシャルワークコースの学生と本学科学生がオンライン上で交流し、両国の文化及び福祉に関する状況の情報交換・意見交換を行う予定。本学科からは、1年SWPの3グループが、ソーシャルワークプロジェクト報告としてパワーポイントを英語で制作し、プレゼンテーションを英語で行う予定。交流会当日に向けて開催準備を行っている。	伊藤純 向笠京子 増田裕子 渡邊瑞穂		114
福祉社会学科	放課後等ディサービス ボランティアプロジェクト	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	終了	2022年4月	2023年2月	プレイ&リズム希望丘およびわんぱくクラブ三軒茶屋にて、レクリエーションの企画・運営、職員の補助業務のボランティアを実施。振り返りにて課題の考察と今後の展開に対する提言を行った。	伊藤純 渡辺剛 野田有紀 渡邊瑞穂		115
福祉社会学科	就労支援事業所商品販売プロジェクト	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	終了	2022年4月	2023年2月	下馬福祉工房にて、ボランティア活動を実施し、就労継続支援B型事業所の機能や役割について学んだ。また事業所の商品（クッキー）を本学オープンキャンパスにて販売する取り組みを通して、現状の課題の考察をし、今後の展開に対する提言を行った。	伊藤純 渡辺剛 野田有紀 渡邊瑞穂		116
福祉社会学科	コミュニティカフェプロジェクト	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	終了	2022年4月	2023年2月	コミュニティカフェななつこのにて、ボランティア活動を実施し、地域におけるコミュニティカフェの機能や役割について学んだ。地域住民との交流や運営に携わる中で、現状の地域課題の考察をし、今後の展開に対する提言を行う。	伊藤純 渡辺剛 野田有紀 渡邊瑞穂		117
福祉社会学科	自主映画上映会プロジェクト	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	終了	2022年4月	2023年2月	秋桜祭にて、自主映画上映会を開催した。上映にあたり配給会社に助言をもらい、担当学生たちが福祉的な社会問題をテーマにした上映作品を選定するなど企画・運営を行った。終了後の実施アンケートから、社会問題に対する参加者の意識について集約をし、現状の課題の考察と今後の展開に対する提言を行った。	伊藤純 渡辺剛 野田有紀 渡邊瑞穂		118
福祉社会学科	留学生支援プロジェクト	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	終了	2022年4月	2023年2月	本学の留学生を対象にOIE協力のもと生活課題について調査を実施した。また、大学近隣地域の生活に役立つ店舗を掲載した英語版マップを作成しSNSに掲載した。現状の課題と今後の展開に対する提言を行った。	伊藤純 渡辺剛 野田有紀 渡邊瑞穂		119
福祉社会学科	有料老人ホームにおけるオンラインレクリエーションプロジェクト	ソーシャルワークプロジェクト I・II	2	終了	2022年4月	2023年2月	東京海上日動ベターライフサービス株式会社が運営する有料老人ホームにて、学生がグループになってオンラインによるレクリエーションを企画・実施し、振り返りにて現状の課題の考察と、今後の展開に対する提言を行った。	伊藤純 渡辺剛 野田有紀 渡邊瑞穂		120

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
福祉社会学科	世田谷区社会福祉協議会ボランティアプロジェクト	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2022年4月	2023年2月	世田谷区社会福祉協議会を通じて、こども食堂にてボランティア活動を行い、地域の課題について考察し、今後の活動の展開に対する提言を行った。	伊藤純 渡辺剛 野田有紀 渡邊瑞穂		121
福祉社会学科	児童館における遊びプロジェクト	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2022年4月	2023年2月	宮前児童館にて、レクリエーションの企画・運営、児童館職員の補助業務のボランティアを実施。振り返りにて課題の考察と今後の展開に対する提言を行った。	伊藤純 渡辺剛 野田有紀 渡邊瑞穂		122
福祉社会学科	太子堂商店街活性化プロジェクト	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2022年4月	2023年2月	一般社団法人ハイコラと共同して太子堂商店街のイベントに参加、「はじめてのおつかい」の企画と当日の運営を行った。振り返りにて課題の考察と今後の展開に対する提言を行った。	伊藤純 渡辺剛 野田有紀 渡邊瑞穂		123
福祉社会学科	高次脳機能障害の方の通所施設ボランティアプロジェクト	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2022年4月	2022年2月	高次脳機能障害のある方の通所施設であるケアセンターふらっとにて、ボランティア活動を行い、地域における生活支援のあり方と今後の課題について考察した。	伊藤純 渡辺剛 野田有紀 渡邊瑞穂		124
福祉社会学科	こども食堂プロジェクト	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2022年4月	2023年2月	せたがや子どもバル虹にて、子ども食堂の運営に参加。会場の装飾や弁当の盛りつけなどの準備、開催時の誘導や参加者らとのコミュニケーションを図った。振り返りにて課題の考察と今後の展開に対する提言を行なった。	伊藤純 渡辺剛 野田有紀 渡邊瑞穂		125
福祉社会学科	ウキウキクラブプロジェクト	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2022年4月	2023年2月	せたがやウキウキクラブ・ウキウキカフェにてボランティア活動を実施した。プログラム参加の他、自主企画による緑日を実施した。活動を踏らした現状の問題を考察し、今後の展開に対する提言を行なった。	伊藤純 渡辺剛 野田有紀 渡邊瑞穂		126
福祉社会学科	ボーイスカウトプロジェクト	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2022年4月	2023年2月	ボーイスカウト世田谷第7団にてスタッフスタッフ補助としてレクリエーションに参加。振り返りにて課題の考察と今後の展開に対する提言を行なった。	伊藤純 渡辺剛 野田有紀 渡邊瑞穂		127
福祉社会学科	フィリピンセントメリーズカレッジとの交流会	-	-	終了	2022年9月	2022年9月	フィリピンケソンシティにあるセントメリーズカレッジ・ソーシャルワークコースの学生と本学科学生がオンライン上で交流し、両国の文化及び福祉に関する状況の情報交換・意見交換を行った。本学科からは、12名の実行委員（当日は6名参加）が折り紙による日本文化体験と昭和女子大学および学生生活の紹介、及びソーシャルワーク実習報告としてパワーポイントや動画を英語で制作し、プレゼンテーションを英語で行った。交流会当日に向けて実行委員は8月から会議を行い、開催準備を行った。	野田有紀 小林マヤ 佐藤千晶		128
福祉社会学科	杉並区立 宮前児童館（おふとん）	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2023年8月	2024年1月	児童館にて実施しているイベント（工作の日、手芸の日、藍のたたき染め）に参加し、子どもたちのサポートをした。今後は、秋桜祭にて活動報告会を実施予定。また、児童館にてイベント（秋の運動会）を企画、実施予定。具体的には、綱引きや玉入れなどを通して、多くの子ども達に楽しんでもらえるようにする。	伊藤純 向笠京子 野田有紀 渡邊瑞穂		129
福祉社会学科	iiiMaquet（もぐもぐまーけっと）	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2023年8月	2024年1月	食品ロス削減に取り組むソーシャルショップを訪問し、食品ロスに関する様々な説明を受け、グループ内で意見交換した。また、実際に店舗にて販売を体験し、従業員の率直な意見を伺った。今後は、秋桜祭にて活動報告会を実施するとともに、食品ロスの現状を知ってもらう為にチラシを配布予定。また、フィリピン交流会と関連して、海外の食品ロス削減活動へ視野を広げ日本との違いを学ぶ予定。	伊藤純 向笠京子 野田有紀 渡邊瑞穂		130
福祉社会学科	世田谷保育園内おでかけひろば どんぐり（サボテン）	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2023年8月	2024年1月	親子（0歳～未就園児）が集うひろばにて、プログラム（お誕生日会等）に参加したり、自主企画イベント（敬老の日のカード作り）を実施。今後は、秋桜祭にて活動報告会を実施予定。また、おでかけひろば どんぐりにてクリスマスにちなんだイベントを開催予定。その他、どんぐりや区役所に意見募集ポスターを作成し、掲示。その後、集めた意見をもとに改善案を考え、ポスターを再作成し、世田谷区の駅などに掲示を予定。	伊藤純 向笠京子 野田有紀 渡邊瑞穂		131

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
福祉社会学科	株式会社アウトソーシング（With Us）	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2023年8月	2024年1月	オンラインにて活動先の担当者様とウクライナ避難民の方と交えて、対面での活動に向け打合せを行う。実際にアウトソーシング本社にて、ウクライナ避難民の方に日本での生活の困りごとを伺った。また、ウクライナの民族衣装と日本の着物を交換し、試着するなど交流を深めた。卒業生のお話も伺った。今後は、秋桜祭にて活動報告会を実施予定。また、12月開催予定のフィリピン交流会に参加予定。	伊藤純 向笠京子 野田有紀 渡邊瑞穂		132
福祉社会学科	社会福祉法人せたがや榎の木会 プレイ&リズム希望丘（たんぼぼ）	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2023年8月	2024年1月	発達に遅れや不安のある子どもたちが利用する事業所にて、①幼児グループ②小中高生グループに分かれてボランティア活動に参加。①工作、プール、着替え、ご飯、歯磨き、手洗い補助。②遠征、工作、料理補助。両グループとも子どもとの関わり方において、1人1人に違った声掛けが必要だということを知った。今後は、秋桜祭にて活動報告会を実施予定。また、若い世代に障害のある子どもの現状とともに、きょうだい児についても広めていく為に、伝える活動を検討。	伊藤純 向笠京子 野田有紀 渡邊瑞穂		133
福祉社会学科	社会福祉法人せたがや榎の木会 世田谷区立下馬福祉工房（アルメリア）	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2023年8月	2024年1月	知的障害者の方を対象とした就労継続支援B型事業所。実際に訪問をし、利用者の方の仕事を一緒に体験。また、より多くの方に下馬福祉工房を知ってもらえるように事業所にて販売しているクッキーをオープンキャンパスにて代理販売。今後は、体験した活動を形に残す為に、冊子やポスターを作成予定。秋桜祭にて活動報告会を実施予定。	伊藤純 向笠京子 野田有紀 渡邊瑞穂		134
福祉社会学科	一般社団法人 ハイコラ（ほのほのんず）	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2023年8月	2024年1月	親子と地域を繋ぐ子育て支援活動を行っている団体のイベント活動に参加。①三茶ラテンフェスティバル in 太子堂中央商店街にて、子育てについてのアンケートを実施。その結果をもとに、子育ての手助けとなるような記事を作成し、ハイコラさん発行の「おむつ替えマップ」のコラムコーナーに掲載していただく。②子ども弁当プロジェクトへ参加。参加していた親子と遊んだり、お弁当と一緒に食べた。③ごほうび祭に参加。「おむつ替えマップ」を入口の看板に掲示したり、ヨーヨー釣りなどの屋台やお菓子ラリーなどのイベント運営に携わり、多数の親子と交流できた。今後は、せたがや福祉区民学会にて活動内容の発表予定。また、秋桜祭にて活動報告会を実施予定。その他、自主企画のイベントを検討中。	伊藤純 向笠京子 野田有紀 渡邊瑞穂		135
福祉社会学科	Snadai Khmer（スナーダイ・クマエ） （light of the world）	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2023年8月	2024年1月	「発展途上国の現状を知り、認知度を広め支援の幅を広げる」をテーマに、カンボジアの児童養護施設スナーダイ・クマエを活動先とし、学内での不用品回収、秋桜祭でのバザーやワークショップを通して、施設へ寄付する予定。秋桜祭のバザーで販売する商品は実際に施設開催の絵画展を訪問し、販売されていたものから学生が選定。同時に秋桜祭では活動報告会を実施予定。	伊藤純 向笠京子 野田有紀 渡邊瑞穂		136
福祉社会学科	東京少年友の会（メトロノーム）	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2023年8月	2024年1月	非行少年の更生を支援しているボランティア団体の研修に参加。学生ボランティアの主な活動内容の説明を受けたり、学生ボランティア役と少年役に分かれてワークを実施。引き続き、数名は会員としてボランティア活動を継続。今後は、東京少年友の会の活動についてより多くの方に知ってもらう為に、模造紙などにまとめ、秋桜祭にて活動報告会を実施予定。	伊藤純 向笠京子 野田有紀 渡邊瑞穂		137
福祉社会学科	せたがや子どもバル・虹（北九州）	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2023年8月	2024年1月	子ども食堂を行っている団体の夏祭りのイベントに参加。1店舗目：お弁当の詰め作業、おもちゃやお菓子の配布、案内係等のお手伝いを行った。2店舗目：普段の活動のお手伝いや搬入作業、お弁当の詰め作業、受付での案内を行った。課題として、運営側の人手不足や食料支援などの問題を学んだ為、現状を広めていく活動を実施検討中。また、秋桜祭にて活動報告会を実施予定。	伊藤純 向笠京子 野田有紀 渡邊瑞穂		138
福祉社会学科	せたがや国際交流センター Crossing Setagaya （ponte）	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2023年9月	2024年1月	国際交流センターに行き、世田谷区在住の外国人に関する調査結果や情報を伺い、現状を知るとともに、多言語化についてやさしい日本語を用いた育児制度の説明の重要性を学んだ。その他、公園巡りを実施し、やさしい日本語がパンフレットに記載されていないことに気付いた。今後は、秋桜祭にて活動報告会を実施するとともに、せたがや国際交流センターに展示する為の展示物を作成予定。	伊藤純 向笠京子 野田有紀 渡邊瑞穂		139
福祉社会学科	東京海上日動ベターライフサービス株式会社 ヒルデモア駒沢公園（Lykke/リュッケ）	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2023年9月	2024年1月	介護付有料老人ホームにて2チームに分かれて活動。Aチーム：ピンゴ大会（昭和歌謡曲クイズ・都道府県クイズ・難読漢字読みクイズ）実施し、手作りの折り紙細工を景品としてお渡しした。Bチーム：手作りすくろくを作成・実施。両チームともにレクリエーションを通して利用者の方と交流を深めた。今後は、せたがや福祉区民学会にて活動内容の発表予定。また、秋桜祭にて活動報告会を実施予定。	伊藤純 向笠京子 野田有紀 渡邊瑞穂		140
福祉社会学科	社会福祉法人扶助者聖母会 児童養護施設 星美ホーム（しろくま）	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2023年9月	2024年1月	星美ホームのボランティアグループ「キッズ＋＋（たすたす）」で活動する方にお話（小学生向け支援や退所者支援）を伺った。今後は、秋桜祭にて活動報告会を実施予定。また、世田谷区教育委員会「わくわくウィンターラン」（子どもを対象としたイベント・勉強会（オンライン含む））に12月に参加予定。退所後は、金銭面での支援が多い事から、お金について楽しく学べるイベント（すくろく）を検討中。	伊藤純 向笠京子 野田有紀 渡邊瑞穂		141
福祉社会学科	社会福祉法人セント・ジョセフ会 児童養護施設 聖ヨゼフホーム（児童虐待防止隊）	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2023年9月	2024年1月	施設のご担当者の方にインタビュー。子どもたちにとって、心のケアができる大人の存在や様々な挑戦の機会が必要であることを学んだ。現場の声を伝えていく為に、イベントを企画予定。“地域アプローズ”に注目し、作成した資料（ポスター）を地域の掲示板に貼る予定。また、秋桜祭にて活動報告会を実施予定。	伊藤純 向笠京子 野田有紀 渡邊瑞穂		142

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
福祉社会学科	フィリピンセントメリーズカレッジとの交流会	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ	2	終了	2023年10月	2024年1月	フィリピンケソンシティにあるセントメリーズカレッジ・ソーシャルワークコースの学生と本学科学生がオンライン上で交流し、両国の文化及び福祉に関する状況の情報交換・意見交換を行う予定。本学科からは、1年SWPの3グループが実行委員として企画運営を実施する。日本文化体験、及びソーシャルワークプロジェクト報告としてパワーポイントや動画を英語で制作し、プレゼンテーションを英語で行う予定。交流会当日に向けて実行委員は10月から開催準備を行っている。	伊藤純 向笠京子 野田有紀 渡邊瑞穂		143
現代教養学科	CLA Reporters & Magazine	CLAプロジェクトA・B	2	進行中	2024年4月	2025年3月	「CLA Reporters & Magazine」は、学生が自分たちのメディアを創り、現代教養学科の魅力を伝えるための情報発信を行うプロジェクト。学科の行事や学生の様子などを取材し、冊子や動画など様々なメディアを作って情報発信をします。広報戦略の立て方や、メディアの特性を活かした企画作り、デザインの技法や動画表現の技法など、学科の授業等での学びを活かして、魅力的なメディアづくりを目指します。	村井明日香 見山謙一郎	<ブログ記事> https://00m.in/QfeBr YouTubeアカウント https://youtube.com/@CLA_ReportersMagazine	144
現代教養学科	魚沼三茶ゆいプロジェクト	CLAプロジェクトA/B	2	進行中	2024年4月	2025年3月	新潟県魚沼市の豊かな自然や、美しいまち、おいしい現地の産品やあたたかい人の魅力を、現地を取材して、ポスターや映像にまとめます。そして、それを東京・三軒茶屋で発信することで、魚沼と東京をつなげ、新しい交流を創り出すことを目標としています。東京では経験することのできない、地方の現実を直接感じながら、その魅力を発信するという課題を通して、未来の魚沼の姿、ひいては地方のあり方も考えていきます。	天笠邦一	https://www.swu.ac.jp/swuhp/university/gendai/practice.html	145
現代教養学科	三茶を楽しもう！プロジェクト	CLAプロジェクトA・B	2	進行中	2024年4月	2025年3月	三軒茶屋が大好きな学生たちが集まり、三茶をもっと元気にしたい他の地域の人々にも三茶の魅力を知らせたいと始めた活動である。三軒茶屋銀座通商店会振興組合とのコラボ活動を中心に毎回多様な学生企画を提供している。学生手作りの三茶マップは好評である。学生自身も楽しみながら活動を行い、様々な地域の人々との触れ合い体験や、代表学生は商店会役員会に出席して地域づくりを学ぶ体験の場になっている。	八木 良広	https://00m.in/DPdGZ	146
現代教養学科	チョコレート映画祭	CLAプロジェクトA・B	2	進行中	2024年4月	2025年3月	下北沢の“しもきた商店街振興組合”他との協働で、バレンタイン直前の休日を利用して、“愛”をテーマに映画祭を開催しています。商店街が運営するまちづくり会社が所有する小劇場などで、映画の研究発表と展示、映画上映、参加型イベントを行っています。来場者にアンケート調査を実施し、結果をグラフにして分析するまでが活動です。映画やチョコレートは楽しいだけでなく、社会を研究するための大切なルーツです。	福田淳子		147
現代教養学科	SWU Agri-Girls	CLAプロジェクトA・B	2	進行中	2024年4月	2025年3月	「東京社会調査研修」（2017年度）の一環として、都市農業体験を実施したことをきっかけに、参加メンバーが自主的に立ち上げたプロジェクトである。世田谷区内等の農園に伺って、種を撒いたり、農産物の収穫・袋詰め、収穫後の後片付け等の援農を行っている。これらの活動を通して「都市農業」の意義と役割や食料自給率に関する課題について考える。	粕谷美砂子	https://content.swu.ac.jp/gendai-blog/2019/03/01/swu-agri-girls%3e3%81%ae%e6%b4%bb%e5%8b%95%e3%82%92%e7%b4%b9%e4%bb%8b%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99%ef%bc%81/	148
現代教養学科	世田谷パンまつり	CLAプロジェクトA・B	2	進行中	2024年4月	2025年3月	三宿エリアの地域活性化プロジェクトの一環として、世田谷パン祭りを盛り上げ、イベントをきっかけに三宿エリアの魅力やパン好きの方だけでなく地域の方に伝えるべく、2011年の第1回開催から三宿四二〇商店会を中心とするボランティアスタッフと共に協働で取り組んでいます。三宿の魅力と課題をリサーチし、地域優先チラシに掲載する地域情報取材・編集する他、10月のイベント準備・当日ではボランティアスタッフOPEN SANDの一員に加わって実行委員会をサポートしています。	鶴田佳子	https://content.swu.ac.jp/gendai-blog/tag/setagaya-panmatsuri/	149
現代教養学科	SAFE MISHUKU PROJECT	—	—	進行中	2024年4月	2025年3月	池尻・三宿エリアにおける地域の様々な問題をリサーチし、少しずつ解決していくことを目的に、三宿四二〇商店会と昭和女子大学鶴田研究室が中心となり、池尻まちづくりセンター、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンターの協力のもと、2020年10月から本プロジェクトを開始。2021年度及び2022年度は、フィールドワークの他、地域の方から危険箇所を聞き取るワークショップを毎年10月に行い、2月末に課題解決の提案を意見交換会の形で開催した。	鶴田佳子	https://mishuku-r420.com/info/2198/	150
現代教養学科	ポケットガーデンプロジェクト	—	—	進行中	2024年4月	2025年3月	大学正門前の国道246号沿い歩道の植樹帯に花を植え、大学近隣の環境美化・エコアップ・地域コミュニティの活性化につながるボランティア活動を行っている。本プロジェクトは、世田谷区・国土交通省公認のボランティア(VSP: Volunteer Support Program)として取り組んでいる。	粕谷美砂子		151
現代教養学科	昭和女子大学 TV(S-TV) *	CLAプロジェクトA・B	2	進行中	2024年4月	2025年3月	昭和女子大学のホームページ上で展開する映像配信型のオウンドメディアである「昭和女子大学TV(S-TV)」。その中の1コーナーとして、学生の目線から様々なテーマについて、リサーチ、分析、議論を行い、それを映像にまとめてYouTube上にアップロードして、学生の意見を発信していきます。プロジェクトは、プロダクションの方と協働しながら制作します。プロの仕事ぶりを見ながら、視野とスキルを鍛えられる貴重なプロジェクトです。	村井明日	https://content.swu.ac.jp/stv/	152
現代教養学科	CLA Creative Lab	—	—	進行中	2024年4月	2025年3月	学生の潜在能力を引き出し、学生の可能性を広げることを目的とし、①クリエイティブ・コンフィデンス、②マーケティング・コミュニケーション、③キャリアデザインという3つのテーマで活動を展開しています。2024年9月にはSDGs未来都市に選定されている鳥取県智頭町に赴き、地方の課題とそれに対する地域発の取り組みを学ぶとともに、町長との意見交換を実施しました。また、同月、読売新聞東京本社を訪問し、ジェンダーに関する新聞記事を取り上げ、記者とのディスカッションを行いました。今後は現代教養学科の学生を対象にしたイベントを企画、実施予定です。	見山謙一郎	https://www.swu.ac.jp/news/nid00007847.html	153

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
初等教育学科	館山プログラム	初等教育プロジェクト	2	進行中	2024年5月	2024年12月	館山市教育委員会と協働で館山市の子どもたちを対象とした学習支援を行う。具体的には夏休みに館山市の小学生約80名を望秀海浜学寮に招き、授業やイベントを3日間実施する。また、世田谷キャンパスで秋に行われる秋桜祭に子どもたちを招いて1日を共に過ごす。教員を目指す学生にとって自分たちが考えたプログラムを実施することは非常に貴重な体験的な学びになっている。	白数哲久		154
初等教育学科	ムジカプロジェクト	初等教育プロジェクト	2	進行中	2024年11月	2025年1月	本プロジェクトは、乳幼児の音楽的能力、美的感受性、知的好奇心、表現する意欲を育てることを目的とし、世田谷区教育委員会と連携して行うプロジェクトです。区内の保育所・幼稚園において、音楽をテーマとしたアコースティックな音楽体験を、計6回ワークショップ形式で実施していきます。ワークショップでは、「楽器の音楽を聴く」「生演奏を見る」「楽器を知る・親しむ」を柱にし、手作り楽器を創作したり、ワークショップなどの進行を担当したりしながら、保育者を目指す学生自身も音楽を楽しみつつ、子どもへの多様な援助方法を見出していきます。	赤塚太郎		155
環境デザイン学科	多摩川の地域・風土性を活用した環境芸術・デザイン 奥多摩地域編	DP総合演習	1	進行中	2024年4月	2024年11月	多摩川の地域・風土性を活用した環境芸術・デザインの調査とワークショップ①-③ ①歩いてみよう奥多摩町：奥多摩に出かけて多摩川沿いのヒーリングウォーキングを行い、多摩川を調査します。②街おこし協力隊等による奥多摩町のミニ講義を聞いて奥多摩町をより深く知ってみましょう。ヒアリング調査も行います。③描いてみよう多摩川と奥多摩町：調査内容より多摩川を題材に作品を制作します。アンケート等を適宜行います。	藤澤忠盛		156
環境デザイン学科	リフォーム仏壇の企画開発	DP総合演習	1	進行中	2024年4月	2024年11月	本プロジェクトでは人口減少社会における空き家問題から発生する仏壇問題を解決するプロジェクトです。実際の仏壇を極小・コンパクトにリデザインし都市部のマンションに移動させる「世界初のリフォーム仏壇」の企画と開発・生産となります。さらに余った仏壇部品でアクセサリやインテリアプロダクトのブランド開発を行う社会問題解決型プロジェクトです。	藤澤忠盛		157
環境デザイン学科	「失われたクメール美術」復活プロジェクト2024	DP総合演習	1	進行中	2024年4月	2024年11月	カンボジアのクメール美術を復活させるプロジェクトです。①カンボジア、クメール美術等をYOUTUBE講義受講（グローバル教材資料）②プノンペンに行く人と行かない人に分かれます。小学校での美術授業体験や作品展示（カンボジア王立プノンペン大学・日本 昭和女子大学）等を行います。③美術授業アプリの企画開発を行います。コスモス祭にて展示する予定です。	藤澤忠盛		158
環境デザイン学科	多摩川の地域・風土性を活用した環境芸術・デザイン 二子玉川地域編	DP総合演習	1	進行中	2024年4月	2024年11月	多摩川の地域・風土性を活用した環境芸術・デザインの調査とワークショップ①-③ ①歩いてみよう二子多摩川：二子玉川に出かけてヒーリングウォーキングを行い、多摩川や自然を調査します。②二子玉川街づくり関係者等による講義を聞いて多摩川をより深く知ってみましょう。ヒアリング調査も行います。③描いてみよう多摩川と二子玉川：調査内容より多摩川を題材に作品を制作します。アンケート等を適宜行います。	藤澤忠盛		159
環境デザイン学科	ファッションのPR戦略	DP総合演習	1	進行中	2024年4月	2025年3月	ファッションショー、作品集、コースInstagram、ホームページなど、ファッションに関する様々なものを題材に、主に、リサーチ、取材、映像・写真撮影および編集、記事作成、などの活動を通して、ファッションを魅力的に発信し盛り上げていくための効果的な方法について戦略を立て、実施していく。ショーに関しては、服飾DM総合演習のチームと連携し共同ミーティングを行いながら進めていく。	菊田琢也 石垣理子		160
環境デザイン学科	ファッションモデルの活動	DP総合演習	1	進行中	2024年4月	2025年3月	11月実施のファッションショーを中心に、モデル活動に関わる仕事を体験するプロジェクト。具体的には、撮影時のポーキング、ランウェイにおけるウォーキングの基礎を学んだり、ヘアメイクやスタイリングについて体験する。それらを通じて、映像や写真における効果的なイメージづくりやビジュアルデザインへの理解を深めることを目的とする。	石垣理子 菊田琢也		161
環境デザイン学科	昭和デジタルスクエアProject	DP総合演習	1	進行中	2024年4月	2025年3月	昭和デジタルスクエア（SDS）は、国内でも珍しい学生運営による大学内Co-Workingスペースです。10号館1階にあり、環境デザイン学科が現代教養学科や現代ビジネス研究所と連携しながら、会計ファイナンス学科やTUJの学生も含め共同で運営しています。活動は、受付からイベント企画、3Dプリンター等の機材オペレーションまで様々です。本学科以外の学生とも協力しながら、より賑わいある場づくりに積極的に参加してもらえの方を待ちしています。	鳥海希世子 金尾朗		162
環境デザイン学科	三茶のストリートファッション調査	DP総合演習	1	進行中	2024年4月	2025年3月	世田谷区三軒茶屋のストリートおよび昭和女子大学のキャンパスをフィールドに、ストリートファッションの調査を行う。具体的には、バルコのACROSS編集室が1980年8月から渋谷・原宿・新宿にて毎月実施している「定点観測」の手法を用いて、ストリートスナップの撮影、取材、消費者分析、マーケットリサーチなどの調査分析を行い、三軒茶屋という都市空間の特殊性を明らかにしていく。	菊田琢也		163
環境デザイン学科	Be free.2024(フェムテック)	DP総合演習	1	進行中	2024年4月	2025年3月	複数の外部企業と連携してフェムテック(女性特有の健康課題を様々なテクノロジーで解決しようとする取り組み)関連の商品やサービスの普及活動を行う。単なる販売促進ではなく、自分たちが女性としてどのようにこの課題をとらえ、社会に発信できるかを考える。具体的には10月にレイクタウンのイオンモールと、11月の秋桜祭で展示イベントを開催する。5社の企業と関わりながら社会での実践を目指す。	金子友美 内田敦子		164

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
環境デザイン学科	まちづくり会議 ～小型EVと地域デザイン～	DP総合演習	1	進行中	2024年5月	2024年10月	ひたちなかヒエンナーレ（2024年8月18日～9月1日）において、「まちづくり会議（トークイベント）」を8月24日（土）に開催します。地域住民や参加者全員が発言しやすいフォーマットでトークイベントを行い、そこで小型EVの活用方法を参加者みなさんと共に考えます。前半は小型EVとまちづくりについてリサーチを行い提案をまとめます。そして後半は、8月24日のイベントの準備、実施、参加、そしてそのまとめのブックレットを制作を行います。 外部講師： 平嶋知英（Green Energy Distribution） 佐々木樹（みなとメディアミュージアム） 大庭広明（法政大学）	オオニシタクヤ		165
環境デザイン学科	F.A.R.M. ～農業をデザインする～	DP総合演習	1	進行中	2024年5月	2024年12月	環境デザイン分野において、食の問題、そして農業は重要な位置を占めています。人類は人口増加に伴い、農業の大型化、機械化、効率化を進め、今環境に大きな負担をかけています。そこで、農業を実践的に体験しながら、今後の農業のありかたを、デザインの可能性を探ります。 オオニシ研究室の前に設置している水耕栽培ユニットは、2022年、六本木の東京ミッドタウンで展示したもので、そのシステムを利用して、野菜を育て、収穫し、またシステムを改良しながら、その活動を世界に発信していきます。	オオニシタクヤ	参考： http://earthfoodservice.com/farm/ Instagram： https://www.instagram.com/f_a_r_m_	166
環境デザイン学科	エネルギー支援プロジェクト調査 ～タイの無電化地域の現地視察を通して～	DP総合演習	1	進行中	2024年5月	2024年12月	In mid-September, a three-day field survey will be conducted in the western border area of Thailand with King Mongkut's University of Technology Thonburi. In the pre-survey period, we will study social issues in developing regions and consider the importance of energy and infrastructure for development. We will also create a map of the survey area to understand our destination before departure. 外部講師： Pornthep Chappinyakoo (KMUTT) Nanthana Boonla-Or (KMUTT)	オオニシタクヤ		167
環境デザイン学科	コオロギ飼育実験と飼育空間の最適化 ～環境に良いタンパク質生産の実現～	DP総合演習	1	進行中	2024年5月	2024年12月	世界的な人口増加による食料危機の対策として、昆虫から摂れるタンパク質が注目されています。特に途上エリアにおける人口増加率は高く、また古くから昆虫食が普及している地域でもあるため、昆虫食の普及は全ての人類の健康を維持するためにとても重要なタンパク源です。本プロジェクトでは、単位面積あたりから収穫できるタンパク質を世界最大にするため研究が行われてきました。そのためここでは、コオロギの密度飼育の実験と観察を行い、その飼育モジュールのデザインの最適化を進めます。3Dプリンタを使用しつつ、コオロギにとっての最適な居住空間とは何かを考えます。	オオニシタクヤ	http://entomfarm.org/	168
環境デザイン学科	Reそーえ 奈良県山添村プロジェクト	DP総合演習	1	進行中	2024年5月	2025年2月	NPO法人どうで・やまそーえオフィス（奈良県山辺郡山添村）との連携プロジェクト。 地域活動を行なっている団体や地域の生産者と商品の販売に関する広報活動や共同開発を通して、デザインを学ぶ本学科の学生ならではの発想や視点から、山添村の新たな魅力について情報発信していく。	内田敦子		169
環境デザイン学科	新潟・村上プロジェクト	DP総合演習	1	進行中	2024年5月	2024年11月	新潟県村上市のまちづくり活動に参加する。今年度は15年目となる。新潟県村上市の町人町で、開催されている竹灯籠祭りにボランティアとして参加し、オブジェを作成し、その成果を学園祭に持ち帰り展示、村上のPRを行う。	内田敦子 金尾朋		170
環境デザイン学科	データで見る環境学生の現実（リアル）	DP総合演習	1	進行中	2024年5月	2025年3月	環境デザイン学科学生の進路やキャリア選択に関するアンケートを実施し、データ分析することで環境デザイン学科学生の現実（リアル）を教員・学生・受験生に対して公表する。講評場所としては、オープンキャンパス、コスモス祭、学科HP等を考えている。	番場美恵子 堤仁美 阿部純也		171
環境デザイン学科	持続可能性のある歩きやすいまちづくり	DP総合演習	1	進行中	2024年5月	2025年3月	二子玉川のまちをフィールドに、実際にまち歩きをして、「歩きやすいまちとはなにか」をメインテーマに、歩くことを楽しくしてくれるツールや方法を生活者の視点でとらえ、現在のまちの歩きやすさに関わる問題と課題を社会調査で明らかにする。東京都市大学との共同研究で（世田谷プラットフォーム研究助成）、本学の担当は、地域住民への環境デザインの視点による持続可能性のある歩きやすいまちの視覚化である。	番場美恵子 鳥海希世子 内田敦子 金子友美		172
環境デザイン学科	傘の生地をデザインして、展示しよう！	DP総合演習	1	進行中	2024年5月	2024年12月	傘の素材や構造、形式や機能、デザインをリサーチし、オリジナルのテキスタイルデザイン（デジタルの予定）し、傘を製作（自費による外注）し、展示会を開催します。 テキスタイルデザイナー岸本万里先生にアドバイスを受けながら進行します。また、傘メーカーのオーロラ（株）の、説明を受ける予定です。なお、オーロラ株式会社の展示場（東急プラザ表参道原宿4階）を見学していただきます。 展示後、アンケート結果の良かった傘は、オーロラ（株）サイトで販売させていただく予定です。	下村久美子		173
環境デザイン学科	エンジニアリングデザインプロジェクト EDP2024	DP総合演習	1	進行中	2024年6月	2025年2月	エンジニアリングデザインプロジェクト（EDP）とは、東京工業大学大学院エンジニアリングデザインコースが開発する異分野融合型授業で、協力企業が策定したテーマに基づいて、東工大院生（M1）、武蔵野美術大学など美大生、社会人受講生、パートナー企業が一緒にチームで課題を発見し、解決手法としてタンジブルなプロトタイプを作成する提案型授業です。そちらに2019年度から本学の学生も参加させていただき、2020年度からDP総合演習として単位化しています。	中山榮子 鳥海希世子		174

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
環境デザイン学科	2x4で茶室を建てよう 建て方実習2024	DP総合演習	1	進行中	2024年6月	2025年2月	2x4（ツーバイフォー）工法（＝枠組壁工法）とは床や壁などの面で建物を支える構造です。2インチ×4インチなどの木材を組んで枠組みを作り、その枠組みに構造用の面材を接合して床や壁を作ります。この床や壁を金物や金具などで一体化して頑強な六面体構造を形成する工法です。このDPでは待庵をモデルに原寸大の建物の構造躯体を作成します。もちろん古くからある茶室は2x4工法ではありません（柱と梁で構成される架構式構造）が、北米で発達した2x4工法ならばDPでできるかも。	中山榮子		175
環境デザイン学科	プレリユード出入口提案プロジェクト	DP総合演習	1	進行中	2024年7月	2025年3月	人見記念講堂の下に本学の購買売店であるショップ・プレリユードがある。ところがこのショップ知っている人は良く利用するものの、利用したことがない人、行ったことがない人、さらにはどこにあるか知らない人までいるようだ。本プロジェクトは、このショッププレリユードの学生にどの程度認知されているかをアンケート調査により実施して、プレリユードの認知を高め、地下のショップへ人を誘引するような出入口周りのデザインの提案を行うものである。提案が受け入れられれば実施することも考えている。	田村圭介		176
環境デザイン学科	建築コース卒研学外展	DP総合演習	1	進行中	2024年9月	2025年2月	建築・インテリアデザインコースの卒業研究の学外展の展示企画、広報等を行う。展示期間は2/1-3で、会場は六本木AXISを予定している。本展示は学生主体で、出展学生が中心となって活動するが、後年にも引き継ぐために、DPでは3年生を中心に、1-3年生に募集をかけ、企画、運営を行う。建築コースが学外展を行うのは初めての試みで、かつ学生主体で企画を行う。次年度以降も継続できるよう、ここで下地をきちんとつくりたいと考えている。	番場美恵子		177
環境デザイン学科	まちの活性化・都市デザイン競技	DP総合演習	1	進行中	2024年10月	2025年3月	Urban Design Center（公益財団法人都市づくりパブリックデザイン センター）主催のまちづくり・都市デザイン競技に参加し、作品を応募する。例年2月末から3月中旬提出予定で開催される。次年度に開催されれば26回目になる。昨年度は茨城県土浦市、今年度は未定（10月頃発表予定）。Group workで作品をまとめて提出することを目標とする。	内田敦子 金尾朗		178
環境デザイン学科	progetto 2.70	-	-	終了	2017年11月	-	㈱ムラコシ精工のすぐれたアルミ加工技術・生産技術に、あらたな視点から生活用品を開発するプロジェクト。アルミの持つ独特な質感・色味・あたたかさ・軽さを活かして生活を心地よくするトータルコーディネート提案していく。「2.70」とは、アルミの比重を表している。	ナカダシロウ	https://progetto-270.mystrikingly.com/	179
環境デザイン学科	海洋プラスチック問題のフューチャー・デザイン	DP総合演習	1	終了	2024年5月	2024年9月	今、世界的に注目されている海洋プラスチック問題について、『2024年の私たちは、20XX年の将来を見据えて、どのようなアクションを実施するべきか』を話し合うグループワーク（プレゼント・デザイン、パスト・デザイン、フューチャー・デザイン）を行う。最終的に、グループごとに提言をプレゼン発表する。すべてのグループワークが完了した後、気持ちを新たに、グループごとにビーチクリーンへ参加し、レポートを提出する。ビーチクリーン推奨団体：海さくら（ https://umisakura.com/news ）	桐山恵理子 オオニシタキヤ		180
環境デザイン学科	トコト design project	-	-	終了	2020年12月	-	昭和女子大学・環境デザイン学科・ナカダケンキュウシツと株式会社トコトとのコラボレーションによって2020年12月に生れたデザインプロジェクトです。金属焼付塗装・粉黛塗装、が得意なメーカーの技術を活かして廃棄塗料や端材の可能性を探求しています。	ナカダシロウ	https://toko-toso.com/	181
環境デザイン学科	TAMAGAWA RE:LIFE 多摩川河川敷の利活用に向けた社会実験	DP総合演習	1	終了	2021年4月	2022年2月	川崎市多摩川丸子橋河川敷における新たな利活用に向けた社会実験をNPO法人ハマのトウダイと協働で行う。フォトブースの設置と写真撮影イベントの企画を計画している。企画の詳細決定、フォトブースの作成、PR、運営方法の検討、実施まで一連の活動を行う。また、コロナの影響でイベント実施が中止、延期になる可能性もあるため、同企画を別会場として商業施設で行うことも計画。	番場美恵子	https://drive.google.com/open?id=1NPVsZ_P9c6p7y8IFteVnNen5wztXYJU	182
環境デザイン学科	ファッションショーのPR・演出	DP総合演習	1	終了	2021年4月	2022年1月	11月13日、14日開催の学園祭でのファッションショー公演に向けて、設定されたテーマに沿って、効果的な広報企画を行うPR活動を中心に、ショーの空間デザイン、映像撮影・編集の実際を学ぶ。服飾DM総合演習とリンクし、ミーティングをしながら、1つのショーを作り上げていく。	石垣理子 下村久美子 菊田琢也	https://drive.google.com/open?id=1FHtPPrQWY7DpRo0BvimbPWBlpDHPVO	183
環境デザイン学科	オリジナルテキスタイルの制作/展示	DP総合演習	1	終了	2021年4月	2022年1月	オリジナルのテキスタイルをデザイン、制作し、展示を行う。染織や加工方法を各自リサーチし、共有する。展示場所や手法はミーティングをして決めていく。リサーチ、デザイン、制作、展示にかかわる過程をポートフォリオにまとめる。	下村久美子	https://drive.google.com/open?id=1kg8aP5NS6cD2zpX2dsu9RU7_k9248KQO	184
環境デザイン学科	SETAGAYA DESIGN WEEK	DP総合演習	1	終了	2021年4月	2021年12月	コスモス祭期間中にプロダクト・グラフィックデザインのモックアップ等の展示、産学や研究室等の研究成果の展示を行う。また、1週間にわたり区内でのデザインイベント情報の共有や、小さなデザイン活動を通して地域との関係を再考していく。	ナカダシロウ	https://drive.google.com/file/d/1a784cUA7DdcaRlktuQ7XAPwVWcpvDcg/view?usp=s_haring	185

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
環境デザイン学科	新潟・村上プロジェクト	DP総合演習	1	終了	2021年5月	2021年11月	新潟県村上市のまちづくり活動に参加する。今年度は12年目となる。新潟県村上市の町人町で、開催されている竹灯籠祭りにボランティアとして参加し、オブジェを作成し、その成果を学園祭に持ち帰り展示、村上のPRを行う。	内田敦子 金尾朋	https://drive.google.com/open?id=1O780JMjDlbbZscEK7eHdYBl2_44_5r	186
環境デザイン学科	エンジニアリングデザインプロジェクト1&2	DP総合演習	1	終了	2021年6月	2022年2月	東工大(院)エンジニアリングデザインコースで開催されるEDPに参加、タンジブルなプロトタイプを作成するグループワークで貢献する。(グループは東工大院生、芸術デザイン系の学生、社会人学生、パートナー企業の方から構成される。)その1では主に講義「エンジニアリングデザイン応用(EDA)」を受講しつつ、グループワークの準備を行う。その2では上記グループに分かれて、その年度のテーマに沿った形でアイデア出しからプロトタイプの作成までを行い、最後に発表する。	中山榮子	https://drive.google.com/file/d/18Sqwog7E8Ty7jZG_59ZuoKU8rFarxj5l/view?usp=sharing	187
環境デザイン学科	まちの活性化・都市デザイン競技	DP総合演習	1	終了	2021年10月	2022年3月	Urban Design Center(公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター)主催のまちづくり・都市デザイン競技に参加し、作品を応募する。例年2月末から3月上旬提出予定で開催される。次年度に開催されれば23回目になる。昨年度は岡山県岡山市、今年度は未定。Group workで作品をまとめて提出することを目標とする。	内田敦子 金尾朋	https://drive.google.com/open?id=1S8dStvOzIpxEnAEFv_BaTzGmW3erYfy	188
環境デザイン学科	「三茶のミライ」de サイト・リノベーション	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2022年11月	現在世田谷区では「三軒茶屋まちづくり」三軒茶屋駅周辺まちづくり検討会議が重ねられており、今年度で3年目です。「三茶のミライ」という基本計画指針ができ、今後は様々なプレイヤーが三茶を舞台に活動してゆくこととなります。これに関わるユニークな方々と関係を築きながら今年度は実際のなまちづくりを行う予定です。杉浦研究室では各地の方々との協働で「サイト・リノベーション」という活動を行っていましたが、今年は「三茶」が舞台、あなたがプレイヤーです。また具体的なシナリオはありません。一緒に頑張ってゆきましょう。	杉浦久子	https://drive.google.com/open?id=1lajv30Qc3FIAK0uvZaZRC_zJge_jnux	189
環境デザイン学科	山手線全30駅模型展示プロジェクト2021	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2022年11月	2019年よりDP総合演習にて制作してきた山手線全30駅模型の展示コンテンツを増やすプロジェクトです。昨年度はコロナのため展示会がなくなり、30駅のビデオコンテンツを制作しました。今年度は、駅ツアーを行い駅を分かった上でその駅を視覚的に表したコンテンツを制作します。例えば駅と地形の関係を表現した模型やドローイングなどですが、チームで協議して決めていきます。担当制作物を完成させて認定単位が出ます。	田村圭介	https://drive.google.com/open?id=1wHuYUtzbyPIXdzLUeBYvk72E9nRMVr30	190
環境デザイン学科	Re ゴーえ	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2022年11月	NPO 法人どうで(奈良県山辺郡山添村)との連携プロジェクト。地域活動を行っている団体や地域の生産者と商品の販売に関する広報活動や共同開発を通して、デザインを学ぶ本学科の学生ならではの発想や視点から、山添村の新たな魅力について情報発信していく。	内田敦子		191
環境デザイン学科	コトバで”見る”ショッピング	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2023年3月	現在の衣服やファッションは、誰もが楽しめるものとして十分に設計されているだろうか。本プロジェクトは、視覚障がいを抱える方たちとセレクトショップや百貨店などを回り、共にショッピングを楽しむことで、私たちが服を購入する際の環境(接客、配置、照明、什器etc.)について調査し、企業にフィードバックする。また、衣服やファッションをめぐる感覚的なもの(デザイン、生地感、おしゃれ、似合うetc.)を言語化して伝えることの難しさ(あるいは、面白さ)を体験する。コトバ=言葉、事と場。コトバを切り口に、ファッションのこれからのを考える。	菊田琢也		192
環境デザイン学科	より良い未来のための、ファッションの売り場づくり	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2023年3月	大丸松坂屋百貨店が取り組むD2Cショールーミングスペース「明日見世(asumise)」、株式会社ワールドが運営するサステナブルなライフスタイルマーケット「246st.MARKET」などの企画に参加する産学連携プロジェクト。学生ならではのフレッシュな発想を業界に向けて発信することで新しいファッションの売り場、コミュニケーションの場をともに作り上げていくことを目指す。より良い未来のための、ファッションの売り場づくり。	菊田琢也		193
環境デザイン学科	傘の生地をデザイン・展示しよう!	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2023年2月	傘の素材や構造、形式や機能、デザインをリサーチし、オリジナルのテキスタイルデザイン(デジタルの予定)し、傘を制作(外注)し、展示会を開催します。テキスタイルデザイナー岸本万里先生にアドバイスを受けながら進めます。岸本先生に紹介いただいた、傘会社に見学に行く予定です(ただし、コロナ状況によります)。岸本先生は、テキスタイルブランド「mannine」を主催されています。	下村久美子		194
環境デザイン学科	ファッションのPR戦略	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2023年3月	ファッションショー、作品集、SNS、ホームページなど、ファッションに関する様々なものを題材に、主に、リサーチ、取材、映像・写真撮影および編集、記事作成などの活動を通して、ファッションを魅力的に発信し盛り上げていくための効果的な方法について戦略を立て、実施していく。ショーに関しては、服飾DM総合演習のチームと連携し共同ミーティングを行いながら進めていく。	石垣理子 菊田琢也 下村久美子		195
環境デザイン学科	フォトブースCuiCui	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2022年12月	商業施設(三井アウトレットパーク横浜ベイサイド)の集客、活性化を目的とした、フォトブースの企画、制作、広報、写真撮影イベントを実施する。イベントの内容は現在はフォトブースであるが、企画の段階で変更も可能。また、川崎市多摩川丸子橋河川敷におけるあらたな利活用に向けた社会実験(イベントの企画、実行)もあわせて行う予定である。	番場美恵子		196

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
環境デザイン学科	持続性のある歩きやすいまちづくり	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2023年3月	「歩きやすいまちとはなにか」をメインテーマに、実際にまち歩きをしながら、歩くことを楽しくしてくれるツールや方法を生活者の視点でとらえ、現在のまちの歩きやすさに関わる問題と課題を社会調査で明らかにします。フィールドは、三軒茶屋！東京都市大学との共同研究（世田谷プラットフォーム研究助成）として進められます。本学の担当は、地域住民への環境デザインの視点による持続可能性のある歩きやすいまちの調査と視覚化です。	鳥海希世子 内田敦子 金尾朋 金子友美 番場美恵子		197
環境デザイン学科	1/1workshop2022A	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2023年2月	実際に原寸大の構築物を制作するプロジェクトです。今回の課題は問題設定型とします。つまり参加メンバーが決まってから協議して決めたいと思います。ただし課題の条件は実際に物理的なモノを構築することです。工具などを使って実際にモノを作ることがこのプロジェクトの大きな目的の一つであります。最後はその作品制作過程を記録にまとめ、記録にまとめたところで認定単位を出すことにしたいと思います。	森部康司 田村圭介		198
環境デザイン学科	1/1workshop2022B	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2023年2月	実際に原寸大で構築物を制作するプロジェクトです。今回の課題は問題設定型とします。つまり参加メンバーが決まってから協議して決めたいと思います。ただし課題の条件は実際に物理的なモノを構築することです。工具などを使って実際にモノを作ることがこのプロジェクトの大きな目的の一つであります。最後はその作品制作過程を記録にまとめ、記録にまとめたところで認定単位を出すことにしたいと思います。	森部康司 田村圭介		199
環境デザイン学科	横浜駅の変遷	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2022年11月	横浜駅で2022年10月に横浜駅の展覧会があります。これまで田村研究室では駅を模型の形で表現してきました。横浜駅は日本最初の駅であり、それが時代の変化とともに場所を変え形を変え現在に至ります。本展覧会ではその横浜駅の変遷について地形、地理、歴史、文化との関係を調べ、それを横浜駅の形として表現するプロジェクトです。前期は横浜と横浜駅の勉強から始め、夏休みは模型製作を行います。	田村圭介		200
環境デザイン学科	小型EVと地域デザイン	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2023年2月	小型EVの環境メリットは高く、また日常生活でのコンパクトな移動に向いている。また防災の観点からも、非常時にはバッテリーとして利用が可能であるため、地域に密着したモビリティとして期待されている。本演習では、EVによる地域活用の可能性を探り、提案する。	オオニシタクヤ		201
環境デザイン学科	グローバルデザイン・プロジェクト ～世界の環境、地域を探る～	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2023年2月	環境デザインは領域の広い分野である。環境、文化、宗教、歴史、経済、気候など様々な背景によって、多様な課題が世界中に存在し、地域特有のデザイン解決が観察される。これら海外事例を調査することで、グローバル感覚を身に付け、広い視野で観察できる力を養う。また各教員からも事例紹介を行い、考察を深める。また、コロナの状況を見ながら、夏休みに現地調査・フィールドワーク（or国内での勉強会）も予定。	オオニシタクヤ 鳥海希世子 藤澤忠盛		202
環境デザイン学科	三茶のミライdeサイト・リノベーション2022	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2023年2月	現在世田谷区では「三軒茶屋まちづくり」三軒茶屋駅周辺まちづくり検討会議が重ねられており、「三茶のミライ」という基本計画指針が見えてきたところです。今後は様々なプレイヤーが三茶を舞台に活躍していくことでしょう。三茶は私達のまちでもあり、これに関わるユニークな方々と関係を築きながら今年はあるなまちづくりを行う予定です。杉浦研究室では各地の方々との協働で「サイト・リノベーション」という仮想的な空間を企画、設計、実施制作してきました。今年度は「三茶周辺」が舞台、あなたがプレイヤーです。まだ、具体的なシナリオはありません。メンバーと一緒に作っていきましょう。	杉浦久子		203
環境デザイン学科	ラボでなんかするプロジェクト2022	DP総合演習	1	終了	2022年4月	2023年2月	このプロジェクトではみらいラボSHOWAが所有する工作機械（デジタルファブリケーション機材を含む）を用いた“加工サンプル作り”を通してそれぞれの工作機械の特性を理解し、「工作機械でできること」を見極めるものづくりのリテラシーを深めます。また、デジタルファブリケーション技術だけに頼らない様々な“実験的創作活動”を行うことで、本来ある表現の多様性を改めて発見し、その可能性を探ります。	長井優衣		204
環境デザイン学科	小型EVと地域デザイン	DP総合演習	1	終了	2022年5月	2022年8月	小型EV（電気自動車）の環境メリットは高く、また日常生活でのコンパクトな移動に向いている。また防災の観点からも、非常時にはバッテリーとして利用が可能であるため、地域に密着したモビリティとして期待されている。本演習では、EVによる地域活用の可能性を探り、提案する。岐阜県大垣市、大垣城周辺をターゲットに、一泊二日（程度）のフィールドワークも予定（夏頃）。	オオニシタクヤ	https://drive.google.com/open?id=19aAHKIV0x8V6oZxoXSopEuacCaZl5Sx	205
環境デザイン学科	1/1workshop2021A（屋内家具）	DP総合演習	1	終了	2022年5月	2022年11月	実際に設計したものを予算内で材料選定の上制作するプロジェクトである。今回は「屋内家具」をテーマに、学内のいずれかに場所を設定し、そこに設置する家具（机と椅子等）をデザインし、実際に制作を行う。なお製作したものはその後しばらく計画地に設置し、一般学生等に使用されることを想定している。	田村圭介 森部康司	https://drive.google.com/open?id=1x8b5mhx6u1mY1kD3Seqas4ff0G-r-Wb	206
環境デザイン学科	1/1workshop2021B（屋外家具）	DP総合演習	1	終了	2022年5月	2022年11月	実際に設計したものを予算内で材料選定の上制作するプロジェクトである。今回は「屋外家具」をテーマに、学内のいずれかに場所を設定し、そこに設置する家具（机と椅子等）をデザインし、実際に制作を行う。なお製作したものはその後しばらく計画地に設置し、一般学生等に使用されることを想定している。	田村圭介 森部康司	https://drive.google.com/open?id=1ZsrRZ-nMu8XUfllZdEKFr-bJkclGCna	207

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
環境デザイン学科	新潟・村上プロジェクト	DP総合演習	1	終了	2022年5月	2022年11月	新潟県村上市のまちづくり活動に参加する。今年度は13年目となる。新潟県村上市の町人町で、開催されている竹灯籠祭りにボランティアとして参加し、オブジェを作成し、その成果を学園祭に持ち帰り展示、村上のPRを行う。	内田敦子 金尾朗		208
環境デザイン学科	Reぞーえ	DP総合演習	1	終了	2022年5月	2023年3月	NPO法人どうで（奈良県山辺郡山添村）との連携プロジェクト。地域活動を行っている団体や地域の生産者と商品の販売に関する広報活動や共同開発を通して、デザインを学ぶ本学科の学生ならではの発想や視点から、山添村の新たな魅力について情報発信していく。	内田敦子		209
環境デザイン学科	エンジニアリングデザインプロジェクト2022	DP総合演習	1	終了	2022年6月	2023年2月	東工大（院）エンジニアリングデザインコースで開催されるEDPIに参加、タンジブルなプロトタイプを作成するグループワークで貢献する。（グループは東工大院生、芸術デザイン系の学生、社会人学生、パートナー企業の方々から構成される。）	中山栄子	https://edp.esd.titech.ac.jp/	210
環境デザイン学科	まちの活性化・都市デザイン競技	DP総合演習	1	終了	2022年10月	2023年3月	UrbanDesignCenter（公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター）主催のまちづくり・都市デザイン競技に参加し、作品を応募する。例年2月末から3月中旬提出予定で開催される。次年度に開催されれば24回目になる。昨年度はさいたま県さいたま市、今年度は未定（10月頃発表予定）。Group workで作品をまとめて提出することを目指す。	内田敦子 金尾朗		211
環境デザイン学科	昭和デジタルスクエアproject	DP総合演習	1	終了	2022年10月	2023年3月	本学10号館1Fの昭和デジタルスクエアのCo-Working Spaceの本格稼働が2022年度から始まる。本学において学外等への連携の中核の一つとなるスペースとしての企画、運営の立ち上げに、学生の立場で参画して新しいスペースを運営するスタッフとして参加する学生を募集します。現代教養学科、ビジネスデザイン学科等の学生と共同して行っていく予定です。	金尾朗 金子友美 堤仁美 鳥海希世子		212
環境デザイン学科	小型EVと地域づくり	DP総合演習	1	終了	2023年4月	2023年12月	小型EV（電気自動車）の環境メリットは高く、また日常生活でのコンパクトな移動に向いている。また防災の観点からも、非常時にはバッテリーとして利用が可能であるため、地域に密着したモビリティとして期待されている。本演習では、EVによる地域活用の可能性を探る。茨城県ひたちなか市でのデザインイベントに参加予定（11月頃）。	オオニシタクヤ		213
環境デザイン学科	F.A.R.M. ～ 農業をデザインする ～	DP総合演習	1	終了	2023年4月	2023年12月	環境デザイン分野において、食の問題、そして農業は重要な位置を占めている。人類は人口増加に伴い、農業の大型化、機械化、効率化を進め、今環境に大きな負担をかけている。そこで、農業を実践的に体験しながら、今後の農業のありかたを、デザインの可能性を探る。オオニシ研究室の前に設置している水耕栽培ユニットは、2022年、六本木の東京ミッドタウンで展示したもの。そのシステムを使って、自然光の入らない都市空間から、野菜を育て、収穫し、またシステムを改良しながら、その活動を世界に発信していく。	オオニシタクヤ	http://earthfoodservice.com/farm/	214
環境デザイン学科	昭和デジタルスクエアProject	DP総合演習	1	終了	2023年4月	2024年3月	本学10号館1階にある昭和デジタルスクエアのCo-Working Spaceが、2022年度より本格的に稼働しています。昨年度は立ち上げのための様々な基盤づくり（サインやマニュアル作成、空間デザイン、運営体制の整備等）を行ってきました。今年度はイベント企画の多様化や利用者の拡大を目指し、活動内容の充実を図っていきたく思います。学内外の連携を目指すこのスペースの企画・運営に携わる学生スタッフを募集します。現代教養学科、ビジネスデザイン学科等の学生と共同して進めていきます。	鳥海希世子 （金尾朗、金子友美、堤仁美）		215
環境デザイン学科	傘の生地をデザインして、展示しよう！	DP総合演習	1	終了	2023年4月	2024年2月	傘の素材や構造、形式や機能、デザインをリサーチし、オリジナルのテキスタイルデザイン（デジタルの予定）し、傘を製作（外注）し、展示会を開催します。テキスタイルデザイナー岸本万里先生にアドバイスを受けながら進めます。また、傘メーカーのオーロラ（株）の、傘会社に見学に行く予定です（ただし、状況によります）。展示で、反響の多かった傘はオーロラ（株）サイトで販売する予定です。	下村久美子		216
環境デザイン学科	ベトナムの伝統的な衣服と染色展（仮称） 展示・広報	DP総合演習	1	終了	2023年4月	2023年8月	2023年度10月25日～11月29日に光葉博物館で開催される「世界遺産ホイアン日本橋展」のプレイベントとして図書館の展示室で7月10日～8月2日に、ベトナムの伝統的な衣服と染色（仮称）の展示会を開催する。その展示にあたり、イベントの開催、展示、広報活動を行う。	下村久美子		217
環境デザイン学科	フォトブースプロジェクトCui Cui	DP総合演習	1	終了	2023年4月	2023年11月	商業施設（三井アウトレットパーク横浜ベイサイド）の集客、活性化を目的とした、フォトブースの企画、制作、広報、写真撮影イベントを実施する。環境デザイン学科の学生だからこそできるフォトブースを設計したい。併せてワークショップなどの企画も考える。また、秋桜祭にも同様のものを出展する予定で考えている。	番場美恵子		218

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
環境デザイン学科	ファッションのPR戦略A	DP総合演習	1	終了	2023年4月	2024年2月	ファッションショー、作品集、SNS、ホームページなど、ファッションに関する様々なものを題材に、主に、リサーチ、取材、映像・写真撮影および編集、記事作成などの活動を通して、ファッションを魅力的に発信し盛り上げていくための効果的な方法について戦略を立て、実施していく。ショーに関しては、「服飾DM総合演習」のチームと連携し共同ミーティングを行いながら進めていく。	石垣理子 菊田琢也 下村久美子 國時誠		219
環境デザイン学科	ファッションのPR戦略B	DP総合演習	1	終了	2023年4月	2024年2月	ファッションショー、作品集、SNS、ホームページなど、ファッションに関する様々なものを題材に、主に、リサーチ、取材、映像・写真撮影および編集、記事作成などの活動を通して、ファッションを魅力的に発信し盛り上げていくための効果的な方法について戦略を立て、実施していく。ショーに関しては、「服飾DM総合演習」のチームと連携し共同ミーティングを行いながら進めていく。	石垣理子 菊田琢也 下村久美子 國時誠		220
環境デザイン学科	ファッションモデルの活動	DP総合演習	1	終了	2023年4月	2023年12月	11月実施のファッションショーを中心に、いわゆるモデル活動に関わる仕事を体験するプロジェクト。具体的には、撮影時のポーシング、ランウェイにおけるウォーキングの基礎を学んだり、ヘアメイクやスタイリングなどを体験する。それらを通じて、映像や写真における効果的なイメージづくりやビジュアルデザインへの理解を深めショーにおいて実践することを目的とする。	石垣理子 菊田琢也 下村久美子 國時誠		221
環境デザイン学科	三茶のミライ de サイト・リノベーション2023【その1】プロジェクトパート	DP総合演習	1	終了	2023年4月	2023年11月	現在世田谷区では「三軒茶屋まちづくり」三軒茶屋駅周辺まちづくり検討会議が重ねられており、「三茶のミライ」というまちづくり活動も始まりました。今後は様々なプレイヤーが三茶を舞台に活動してゆくことになるでしょう。三茶は私達のまちでもあり、これに関わるユニークな方々と関係を築きながら昨年に続き、さらなるバージョンアップを目指しています。 (杉浦研究室では各地の方々と協働で「サイト・リノベーション」という仮設的な空間を企画、設計、実施制作してきました。) 「三茶」のまちで、リアルに使える空間をつくります。 やる気のある方、リピーターも大歓迎です。	杉浦久子		222
環境デザイン学科	三茶のミライ de サイト・リノベーション2023【その2】展示パート	DP総合演習	1	終了	2023年4月	2024年3月	現在世田谷区では「三軒茶屋まちづくり」三軒茶屋駅周辺まちづくり検討会議が重ねられており、「三茶のミライ」というまちづくり活動も始まりました。今後は様々なプレイヤーが三茶を舞台に活動してゆくことになるでしょう。三茶は私達のまちでもあり、これに関わるユニークな方々と関係を築きながら昨年に続き、さらなるバージョンアップを目指しています。 杉浦研究室では各地の方々と協働で「サイト・リノベーション」という仮設的な空間を企画、設計、実施制作してきました。 展示パートは「三茶」のまちで、展覧会を企画、運営する予定です。 やる気のある方、リピーター大歓迎です。	杉浦久子		223
環境デザイン学科	1/1ワークショップ2023A	DP総合演習	1	終了	2023年4月	2024年3月	大学の1号館と8号館の間の中庭に立派なヒマラヤ杉が立ち並んでいるが、中庭の中央に位置する一本は切り倒され切り株となっており、木の柵で長いこと囲われている。実はこの切り株は生きていて枝を伸ばしている。この切り株の未来を考え、この切り株及びその周辺に人が集まることを考えデザインするプロジェクトである。	田村圭介 森部康司		224
環境デザイン学科	1/1ワークショップ2023B	DP総合演習	1	終了	2023年4月	2024年3月	大学の1号館と8号館の間の中庭に立派なヒマラヤ杉が立ち並んでいるが、中庭の中央に位置する一本は切り倒され切り株となっており、木の柵で長いこと囲われている。実はこの切り株は生きていて枝を伸ばしている。この切り株の未来を考え、この切り株及びその周辺に人が集まることを考えデザインするプロジェクトである。	田村圭介 森部康司		225
環境デザイン学科	Reそーえ	DP総合演習	1	終了	2023年5月	2024年2月	NPO法人どうで・やまそーえオフィス（奈良県山辺郡山添村）との連携プロジェクト。 地域活動を行なっている団体や地域の生産者と商品の販売に関する広報活動や共同開発を通して、デザインを学ぶ本学科の学生ならではの発想や視点から、山添村の新たな魅力について情報発信していく。	内田敦子		226
環境デザイン学科	新潟・村上プロジェクト	DP総合演習	1	終了	2023年5月	2023年11月	新潟県村上市のまちづくり活動に参加する。今年度は12年目となる。新潟県村上市の町人町で、開催されている竹灯籠祭りにボランティアとして参加し、オブジェを作成し、その成果を学園祭に持ち帰り展示、村上のPRを行う。	内田敦子 金尾朋		227
環境デザイン学科	ファッションショー×オブジェ	DP総合演習	1	終了	2023年5月	2023年11月	11月の秋桜祭で実施するファッションショーにおける空間演出の一部として、ショーのテーマを象徴するようなオブジェを旧体育館に設置する。	菊田琢也		228

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
環境デザイン学科	エンジニアリングデザインプロジェクト EDP2023	DP総合演習	1	終了	2023年6月	2024年2月	エンジニアリングデザインプロジェクト（EDP）とは、東京工業大学大学院エンジニアリングデザインコースが開発する異分野融合型授業で、協力企業が策定したテーマに基づいて、東工大院生（M1）、武蔵野美術大学など美大生、社会人受講生、パートナー企業が一緒にチームで課題を発見し、解決手法としてタンジブルなプロトタイプを作成する提案型授業です。そちらに2019年度から本学の学生も参加させていただき、2020年度からDP総合演習として単位化しています。	中山榮子		229
環境デザイン学科	まちの活性化・都市デザイン競技	DP総合演習	1	終了	2023年10月	2024年3月	Urban Design Center（公益財団法人都市づくりパブリックデザイン センター）主催のまちづくり・都市デザイン競技に参加し、作品を応募する。例年2月末から3月上旬提出予定で開催される。次年度に開催されれば25回目になる。昨年度は栃木県宇都宮市、今年度は未定。Group work で作品をまとめて提出することを目標とする。	内田敦子 金尾朋		230
管理栄養学科	PHDPJ(PlanetaryHealth Diet Project) ×SWU	—	—	進行中	2022年4月	2025年3月	SDGs(Sustainable Development Goals =持続可能な開発目標)実現へ向けて、アイデアを出し合い、一緒に考え、新しい未来づくりに参加する。方法として、関係専門分野の方々にインタビューを行い、問題点を抽出し、今後の取り組みについて、今何ができるかを(食の観点から)考えて行く。活動の一つとして、PHDメニューを考案し、ソフィアで販売予定である。	増野華菜子 横塚昌子		231
管理栄養学科	星ゼミ食育プロジェクト	—	—	進行中	2024年3月	—	学生が主体となり、地域の子どもの食経験向上を目的とした食育活動を計画・遂行することで、管理栄養士として大切な資質である食育を実践できる力を育てている。また、地域の子どもと学生とを交流させることで、キャリア教育の要素も含んだ地域貢献活動となっている。	星玲奈	https://content.swu.ac.jp/kanrieyo-blog/	232
管理栄養学科	For me	—	—	終了	2019年4月	2023年3月	科研費で行っている研究ベースのプロジェクトである。昭和女子大学の学生および教職員に対して、健康を意識するきっかけや健康管理の目的で体組成計に乗ってもらった活動です。さらに、その参加者の女子大生に対して研究協力を求め、体組成測定、血圧、血糖値、骨密度、血色素、握力などの健康測定を行っている。	小西香苗 清水史子		233
管理栄養学科	ネウボラ研究プロジェクト (品川区乳幼児健診研究)	—	—	終了	2021年7月	2023年3月	臨地実習でお世話になっている品川区と研究協力提携を結んで実施している研究ベースのプロジェクトである。自治体の持つ乳幼児検診データを利活用することにより、住民の健康課題の明確化を行い、自治体にとって有益な政策作成の基礎データを提供することを目的としている。すでに出生時・6か月検診データを用いた解析、自治体への結果報告、学会発表を終え、現在は、品川区の3保健センターにて1歳6か月健診データの投入を行い、今後、3歳児検診データの提供を頂く予定である。データ収集後は出生時・6か月・1歳6か月・3歳時点データを縦断的な視点で解析を行う予定である。	小西香苗		234
健康デザイン学科	学生応援フードパントリー調布	—	—	進行中	2020年10月	—	2020年のコロナ禍より、生活に困窮する学生を対象としたフードパントリーを開始し、現在も年に2〜3回開催している。大学教員、一般住民で構成される学生応援フードパントリー調布実行委員会において、プロジェクトの学生は、配布する食品を参加者のニーズ、学生の嗜好、栄養バランスの観点から選定し、配布食品を使ったレシピも考案し、食料と情報の提供により、フードパントリー参加者のQOLの向上を目指し、活動をしている。	黒谷佳代	https://www.uec.ac.jp/news/event/2024/20241011_6543.html	235
健康デザイン学科	スポーツイベント	輝け健康美プロジェクト	1	終了	2022年10月	2024年3月	1. スポーツイベントを企画運営する：全学学生を対象に球技大会等の企画運営を行う。 2. フィットネスレガシー2023「つながりエクササイズ」への動画コンクールへの参加：人々を元気にできる健康体操・エアロビクスなどの制作（主催/（公社）日本フィットネス協会 共催/（公財）健康・体力づくり事業財団（公社）日本エアロビック連盟）	山中健太郎 白川敦子		236
健康デザイン学科	美カフェ	輝け健康美プロジェクト	1	終了	2022年10月	2022年12月	館山市の小学校の児童を対象に食育の授業を展開する。今年度はオンライン授業の実施を計画している。	池田尚子 小川睦美 白川敦子		237
食安全 マネジメント学科	宇宙食のコンセプトから作る次世代メニューの提案と実践	輝け健康美プロジェクト	1	終了	2022年10月	2023年3月	最新の宇宙での食材保管、メニューの選定、栄養・衛生面の実態について調査する。地上での危機管理で有益な保存法、簡便な調理法について学生の創意・工夫をレポートすると共に、それらを活かした食事のメニューを開発する。宇宙食としての搭載の条件は、JAXA筑波宇宙センターを訪問または専門家を招聘して検討する。宇宙に搭載する前の中間ゴール（今学期の目標）は、日本科学未来館、遠藤プロジェクトとコラボし、Miraikan Kitchenなどで宇宙食をイメージした日本科学未来館らしいメニューを提供することである。	須賀 比奈子 高尾 哲也		238
食健康科学部	ミャンマーコーヒー	輝け健康美プロジェクト	1	進行中	2023年4月	2025年3月	ミャンマーでは、ケシ栽培の撲滅のためにコーヒーを栽培しています。このコーヒー豆を広めることが、このプロジェクトの大きな目標です。小さな目標としては、このコーヒー豆を使って収益化を目指してみましよう。学祭での出店も決定している。	渡辺睦行		239

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
食健康科学部	スポーツイベント	輝け健康美プロジェクト	1	進行中	2023年4月	2024年12月	スポーツイベントの企画運営をおこなう。	白川敬子 山中健太郎		240
食健康科学部	H(health)&B(beauty)メニューレシピの提案	輝け健康美プロジェクト	1	進行中	2023年4月	2025年3月	昭和女子大学の学生へ、「しっかり食べて、しっかり体を動かして健康的な身体を作る」情報発信をしようという、輝け☆健康「美」プロジェクトの根幹の1つを実践する。 学生食堂受託業者（レバスト）の協力のもと、学生食堂ソフィアの定食H&Bランチのメニューレシピ提案を行う。メニューレシピ提案の際には、これまで先輩が提案してきたメニューをまとめたメニュー集を活用しながら、学生自身が主体的にミーティングを重ね、さらにソフィアの厨房スタッフとコミュニケーションを取り、最終的に検討会でより良いメニューに仕上げる。さらに、学生食堂の快適な食環境を整備するための提案もしていく予定である。 今年の7月にはあらたな試みとして、SDGsの観点から植物性食品を中心に利用した献立の提案も実施した。プラネタリーヘルスダイエットなど、未来につながる食事の提案なども積極的にやっていく。 さらに、附属こども園初等部の栄養士とコラボレーションし、0～12歳児の給食メニューも考案する。	不破眞佐子 清水史子		241
食健康科学部	子ども食堂で食健康教育活動	輝け健康美プロジェクト	1	進行中	2023年10月	2024年11月	子ども食堂で食健康教育活動（健康に関連したゲーム等）を行う。コラボ団体はせたがや虹ハルさん（木曜日開催）、NPO法人地域で子どもを育む会（金曜日開催）。せたがや虹ハルさんは、本学裏で、お弁当の配布を行い、太子堂区民センター等で共食の場づくりを行っている。地域で子どもを育む会は、溝の口駅近くの神社で小学生対象の寺子屋を実施している。	星玲奈		242
食健康科学部	JAベジ食べーる！	輝け健康美プロジェクト	1	進行中	2024年4月	2025年3月	JA全農かながわ、三浦市農協協同組合、よこすか葉山農業協同組合の協力のもと、対象野菜「三浦半島産 大根、キャベツ」の消費拡大を図る。大根、キャベツの消費が低迷し、若い世代に野菜の料理離れが目立つと言われている。そこで大根、キャベツのレシピを考案し、百貨店（阪急百貨店・都築阪急）に考案したレシピが採用されることを目指す。 主なスケジュール ・5月：出張講義（JA全農かながわ、阪急百貨店・都築阪急） ・5月～9月：考案メニューの試作、改良 ・9月～11月：百貨店 レストランへ考案メニューのプレゼン、意見交換 ・12月：圃場見学 ・1月：百貨店にて販促活動 （コラボ先企業名：JA全農かながわ、三浦市農協協同組合、よこすか葉山農業協同組合、百貨店、JA全農社員寮）	佐川敦子		243
食健康科学部	渋谷区×ヘルシーメニュー認証店マップ作り	輝け健康美プロジェクト	1	進行中	2024年10月	2024年12月	インターネットやパソコンを用いて、渋谷区内の飲食店で、健康的な食事を提供している（ヘルシーメニュー認証店）を検索・まとめていくプロジェクト。渋谷区と共に一緒に健康になれる食環境整備について取り組む。	星玲奈		244
食健康科学部	フリーズドライ製品を使用したアレンジレシピ開発	輝け健康美プロジェクト	1	進行中	2024年10月	2025年1月	兵庫のコスモス食品とのコラボ企画。テーマは「体の中から美しく一朝食レシピ」、ターゲットは「女子大学生」です。フリーズドライの基礎理論と方法を学んだ後、実際に典型的なフリーズドライ食品の製造工程を体験する。これらをベースに、若者や女性の視点から新製品の企画や開発を行う。1月8日（予定）の最終活動日において、当プロジェクトの参加者全員で試食会をおこない、株式会社コスモス食品による評価/表彰をおこなう。	小泉美和子 秋山久美子		245
食健康科学部	JAベジラボ	輝け健康美プロジェクト	1	終了	2020年4月	2024年3月	JA全農かながわ、三浦市農協協同組合、よこすか葉山農業協同組合の協力のもと、対象野菜「三浦半島産 大根、キャベツ」の消費拡大を図ります。 大根、キャベツの消費が低迷し、若い世代に野菜の料理離れが目立つと言われています。そこで大根、キャベツのレシピを考案し、レストラン（百貨店 玉川高島屋）や社員寮（JA農協社員寮）に考案したレシピが採用されることを目指します。 （コラボ先企業名：JA全農かながわ、三浦市農協協同組合、よこすか葉山農業協同組合、百貨店玉川高島屋、JA農協本社のミノーレ弁当販売所）	佐川敦子		246
食健康科学部	ブロッコリースーパースプラウトを広めよう！	輝け健康美プロジェクト	1	終了	2022年10月	2024年2月	村上農園とのコラボ企画。健康効果の高いブロッコリースーパースプラウトを広く知ってもらうために、活動中。ブロッコリースーパースプラウトを用いたハンバーガーまたはそのサイドメニューのレシピを考案し、実際に店舗で販売してもらうことを目指す。	秋山久美子 高尾哲也		247
食健康科学部	カルシウムをもっと手軽に摂りたいプロジェクト	輝け健康美プロジェクト	1	終了	2022年10月	2023年3月	溶解性の高いカルシウム製剤を用いた食品レシピを開発すると共に、カルシウム製剤の広報を考えます。	高尾哲也 佐川敦子		248
食健康科学部	桑葉開発協働プロジェクト	輝け健康美プロジェクト	1	終了	2022年10月	2023年3月	協働先企業：エイジェックグループ 桑葉を利用した食品(包装可能なもの)のレシピを開発すると共に、桑葉の販売戦略・促進方法を検討します。成果は12月の中間発表、年度末の発表会で報告します。	高尾哲也 秋山久美子 清野誠喜		249

学科名	プロジェクト名	科目名	単位数	活動状況	活動開始	活動終了	概要	担当教員	参考URL	NO
食健康科学部	entrex*swu 協働プロジェクト	輝け健康美プロジェクト	1	終了	2023年4月	2024年3月	コラボ先は㈱entrex（アントレックス） entrex社が販売するミキサーVitamixの性能を栄養学的観点から検証し、販売促進の提案につなげること。	小川睦美		250
食健康科学部	新たな調味料が生み出すユニークレシピプロジェクト	輝け健康美プロジェクト	1	終了	2023年4月	2024年1月	透明醤油は、生揚げ醤油を原料としてオリジナルの特許製法で作上げた新しい調味料です。 この透明醤油は、通常の醤油では出せない素材の色、旨さを引き立てます。 また、醤油の薫りを醸し出してくれます。 醤油の代替えではなく、この透明醤油という新たな調味料としてのオリジナル使い方レシピを開発します。 打合せや試作、発表会などの内容等は以下の様な予定で行いたいと考えています。 11月学園祭で成果報告の予定です。	佐川敦子 高尾哲也		251
食健康科学部	食品ロス低減に向けた干しいもレシピと親子で簡単 いもレシピの開発	輝け健康美プロジェクト	1	終了	2023年10月	2024年3月	協働先企業：エイジックグループ 1. 干しいもの商品化出来なかった部分を利用して、新規なレシピを開発します。 食品を製造する際には切れはし等の袋詰め流通できない部分が必ず発生します。この通常は流通しない素材を用いて新規なレシピを開発し、商品化を目指します。 2. さつまいもを用いた簡単な新規レシピを開発します。 親子で参加する芋掘りイベント等で利用可能な簡単に短時間でできる新規レシピを開発し、実際にイベント等での利用を目指します。 レシピを開発すると共に、製品の販売戦略・促進方法を検討します。成果は11月下旬の中間発表、年度末の発表会で報告します。 レシピ開発の参考に、11月1日(水)にはさつまいも畑や干しいも製造現場の見学を予定しています。また、打合せや試作、発表会などの内容等をSNSやWebで発信する予定です。	高尾哲也 秋山久美子		252